

令和5年度 第4回
さいたま市インターネット市民意識調査
【調査報告書】

令和6年3月

さいたま市市長公室秘書広報部広聴課

インターネット市民意識調査 【調査報告書】

目次

1	調査企画とサンプル構成	1
2	調査結果	3
	SC1. 居住地	5
	【動画による広報に関する質問】	6
	Q1. 動画配信サイトやSNSなどで動画を見ることがあるか	6
	Q1. 動画配信サイトやSNSなどで動画を見ることがあるか（経年比較）	7
	Q2. 動画を見るとき、利用するもの（複数回答）	8
	Q3. さいたま市公式チャンネルの動画を見たことがあるか	10
	Q3. さいたま市公式チャンネルの動画を見たことがあるか（経年比較）	11
	Q4. 動画でさいたま市のどんな情報を知りたいか（複数回答）	12
	Q5. 市が配信する動画を見たいと思う長さ	13
	【さいたま市出前講座に関する質問】	14
	Q6. さいたま市出前講座への参加の有無	14
	Q6. さいたま市出前講座への参加の有無（経年比較）	15
	Q7. さいたま市出前講座の認知経路（複数回答）	16
	Q8. これからさいたま市出前講座に参加したいと思うか	18
	Q8. これからさいたま市出前講座に参加したいと思うか（経年比較）	19
	Q9. さいたま市出前講座のテーマで興味があるもの（複数回答）	20
	【区役所における窓口サービスに関する質問】	21
	Q10. 1年以内に区役所等へ行った回数	21
	Q11. 1年以内に区役所等を利用した件数（複数回答）	22
	Q12. 区役所が開いていると便利だと思う時間帯（複数回答）	24
	Q13. 休日窓口の利用経験	26
	Q13. 休日窓口の利用経験（経年比較）	27
	【福祉まると相談窓口に関する質問】	28
	Q14. 「福祉まると相談窓口」の認知度	28
	Q15. 「福祉まると相談窓口」の認知経路（複数回答）	29
	【食品ロスに関する質問】	30
	Q16. 知っていた食品ロスの取組（複数回答）	30
	Q16. 知っていた食品ロスの取組（複数回答）（経年比較）	31
	Q17. ふだん食品ロス削減のためにやっている工夫（複数回答）	32
	Q18. 食品ロス削減の工夫をするうえで妨げとなるもの（複数回答）	33
	【インターネット上における誹謗中傷等に関する質問】	34
	Q19. インターネット上で誹謗中傷等を受けたことがあるか	34
	Q20. インターネット上の誹謗中傷等への対策として、今後力を入れるとよいと思う取組（複数回答）	35
3	調査票（アンケート画面）	37

1 調査企画とサンプル構成

1-1 調査目的

市が事業を推進するにあたり、迅速に市民意識を把握することができるよう、インターネットを活用した市民意識調査を実施する。

1-2 調査地域

さいたま市

1-3 調査対象者

対象者条件：さいたま市在住の18歳～69歳の男女

18～29歳、30代、40代、50代、60代の5年齢層において、各年齢層の男女各100サンプル、合計1,000サンプルを対象とする。

1-4 有効回答数

無作為配信により、合計1,000サンプルを回収した。

(人)

	18～29歳	30代	40代	50代	60代	合計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500
合計	200	200	200	200	200	1,000

(参考) なお、各区の有効回答数は下表の通りである。

(人)

さいたま市	男性						女性						合計
	18-29歳	30代	40代	50代	60代	計	18-29歳	30代	40代	50代	60代	計	
西区	10	8	10	9	6	43	7	9	9	5	4	34	77
北区	9	10	10	17	9	55	9	14	9	12	11	55	110
大宮区	9	10	11	4	10	44	14	10	12	10	5	51	95
見沼区	10	13	12	15	11	61	13	16	8	11	16	64	125
中央区	17	13	11	6	8	55	11	7	5	8	8	39	94
桜区	5	7	4	6	7	29	13	2	11	4	10	40	69
浦和区	7	13	12	10	19	61	13	11	13	11	12	60	121
南区	19	14	14	19	20	86	11	15	16	24	13	79	165
緑区	9	5	10	5	7	36	5	8	10	10	10	43	79
岩槻区	5	7	6	9	3	30	4	8	7	5	11	35	65
合計	100	100	100	100	100	500	100	100	100	100	100	500	1,000

1-5 調査方法

インターネット調査（調査会社の登録モニターによるWEB調査）

1-6 実施時期

令和6年2月2日（金）～2月7日（水）

1-7 調査実施機関

株式会社サーベイリサーチセンター

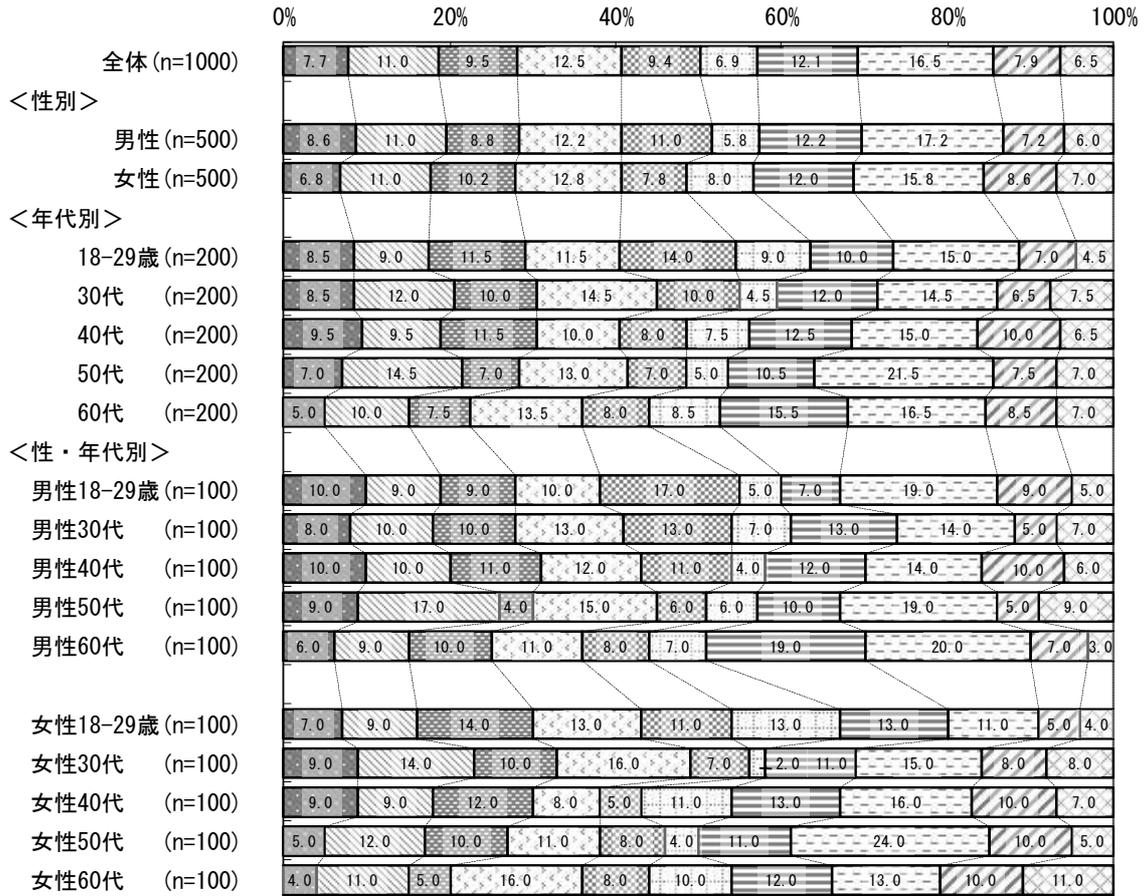
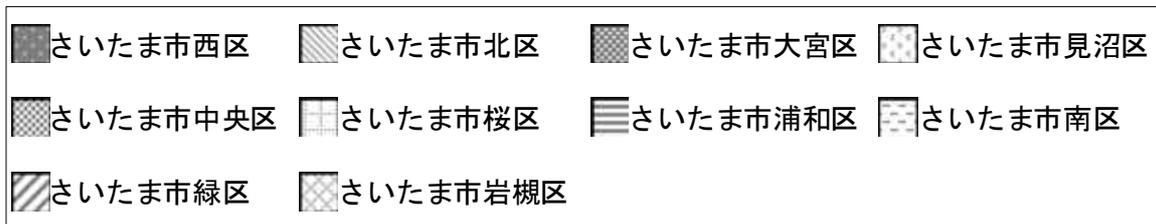
1-8 この報告書の見方

- (1) 図表中の「n」（number of case の略）は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。複数回答の設問では、すべての比率を合計すると100.0%を超える。
- (2) 図表中の調査結果の比率は、小数第2位を四捨五入して算出した。そのため、すべての比率を合計したときに100.0%にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがある。
- (3) 図表中の選択肢の表記は、場合によっては語句を一部簡略化してある。
- (4) 【全体結果】及び【比較結果】における調査結果の比率は、図表中の調査結果の少数第1位を四捨五入して算出した。そのため、すべての比率を合計したときに100.0%にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがある。

2 調査結果

SC1. 居住地

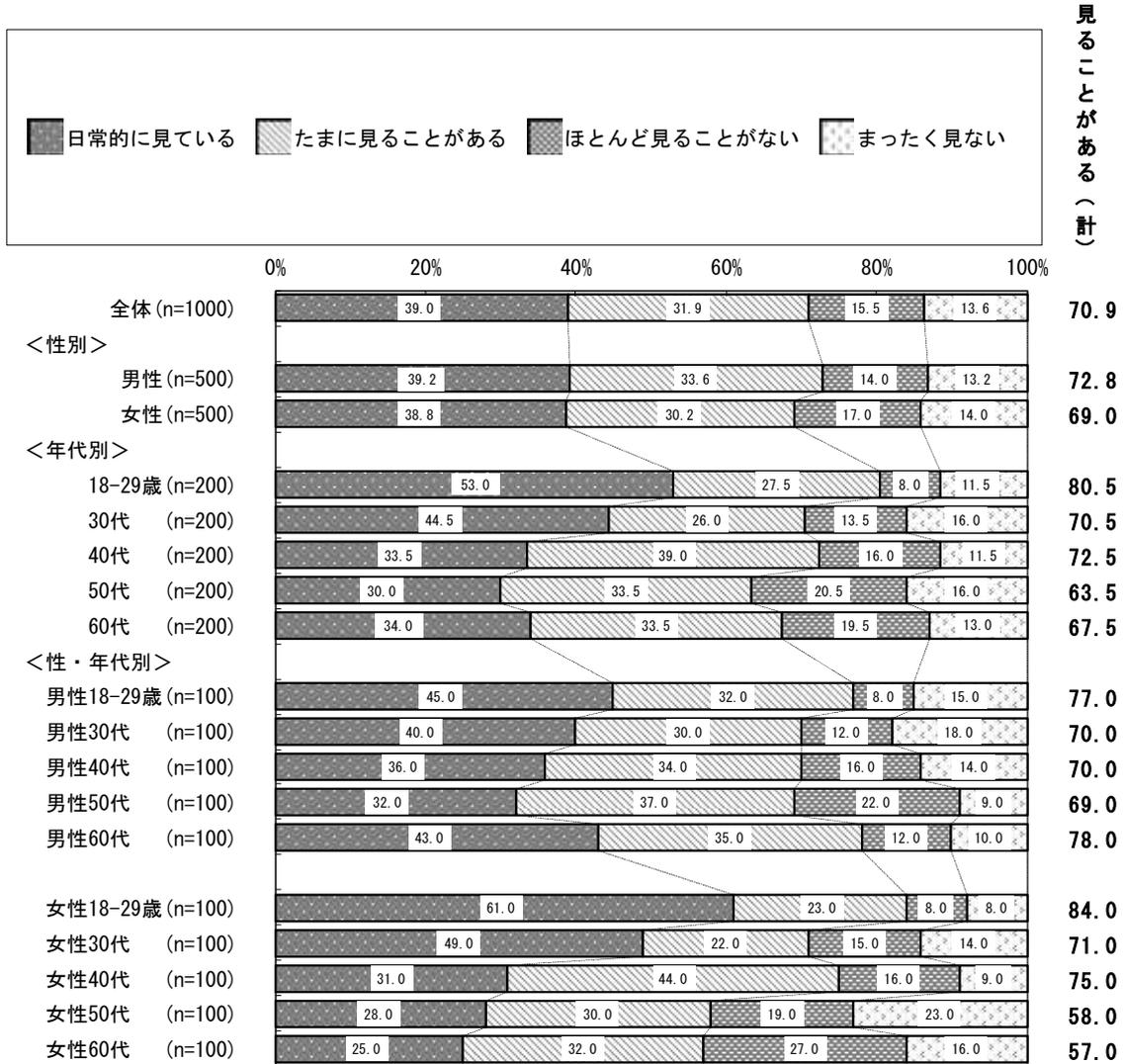
あなたのお住まいをお答えください。



【動画による広報に関する質問】

Q 1. 動画配信サイトやSNSなどで動画を見ることがあるか

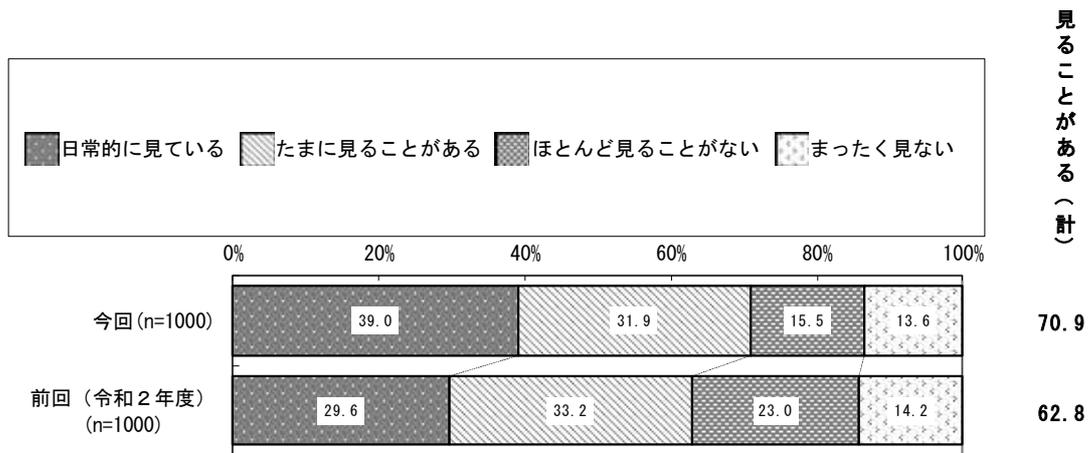
あなたは、知りたい情報を得るために動画配信サイトやSNSなどで動画を見ることがありますか。以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「日常的に見ている」(39%)と「たまに見ることがある」(32%)を合わせた『見ることがある (計)』は、71%であった。

◎年代別で見ると、『見ることがある (計)』は、18-29歳 (81%) のみ8割を超えた。

Q 1. 動画配信サイトやSNSなどで動画を見ることあるか（経年比較）

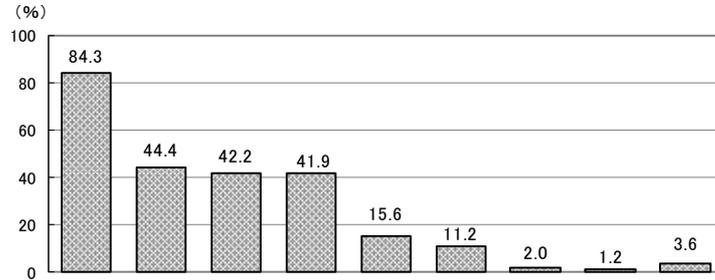


【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、『見ることがある（計）』（71%）は、前回の調査結果（63%）よりも8ポイント増加した。

(Q1で、「まったく見ない」以外を回答した人が対象)

Q2. 動画を見るとき、利用するもの (複数回答)

あなたは、知りたい情報を得るために動画を見るとき、何を利用しますか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		YouTube	X (旧Twitter)	Instagram	LINE	TikTok	Facebook	Threads	その他	覚えていない/わからない
全体(n=864)		84.3	44.4	42.2	41.9	15.6	11.2	2.0	1.2	3.6
性別	男性(n=434)	88.2	43.8	30.6	39.6	14.7	13.1	2.3	1.4	2.1
	女性(n=430)	80.2	45.1	54.0	44.2	16.5	9.3	1.6	0.9	5.1
年代別	18-29歳(n=177)	88.1	71.2	67.8	48.6	31.1	5.6	2.8	0.0	0.0
	30代 (n=168)	81.5	54.8	46.4	38.7	13.1	11.9	2.4	0.6	2.4
	40代 (n=177)	89.3	35.6	45.2	43.5	13.6	12.4	2.3	0.6	1.1
	50代 (n=168)	79.8	35.1	32.7	41.1	11.3	14.3	1.2	1.8	4.2
	60代 (n=174)	82.2	25.3	18.4	37.4	8.6	12.1	1.1	2.9	10.3
性・年代別	男性18-29歳(n=85)	89.4	67.1	50.6	45.9	24.7	5.9	2.4	0.0	0.0
	男性30代 (n=82)	87.8	48.8	28.0	35.4	12.2	13.4	1.2	1.2	1.2
	男性40代 (n=86)	94.2	41.9	34.9	44.2	18.6	15.1	3.5	1.2	0.0
	男性50代 (n=91)	83.5	34.1	22.0	39.6	8.8	16.5	2.2	1.1	3.3
	男性60代 (n=90)	86.7	28.9	18.9	33.3	10.0	14.4	2.2	3.3	5.6
	女性18-29歳(n=92)	87.0	75.0	83.7	51.1	37.0	5.4	3.3	0.0	0.0
	女性30代 (n=86)	75.6	60.5	64.0	41.9	14.0	10.5	3.5	0.0	3.5
	女性40代 (n=91)	84.6	29.7	54.9	42.9	8.8	9.9	1.1	0.0	2.2
女性50代 (n=77)	75.3	36.4	45.5	42.9	14.3	11.7	0.0	2.6	5.2	
女性60代 (n=84)	77.4	21.4	17.9	41.7	7.1	9.5	0.0	2.4	15.5	

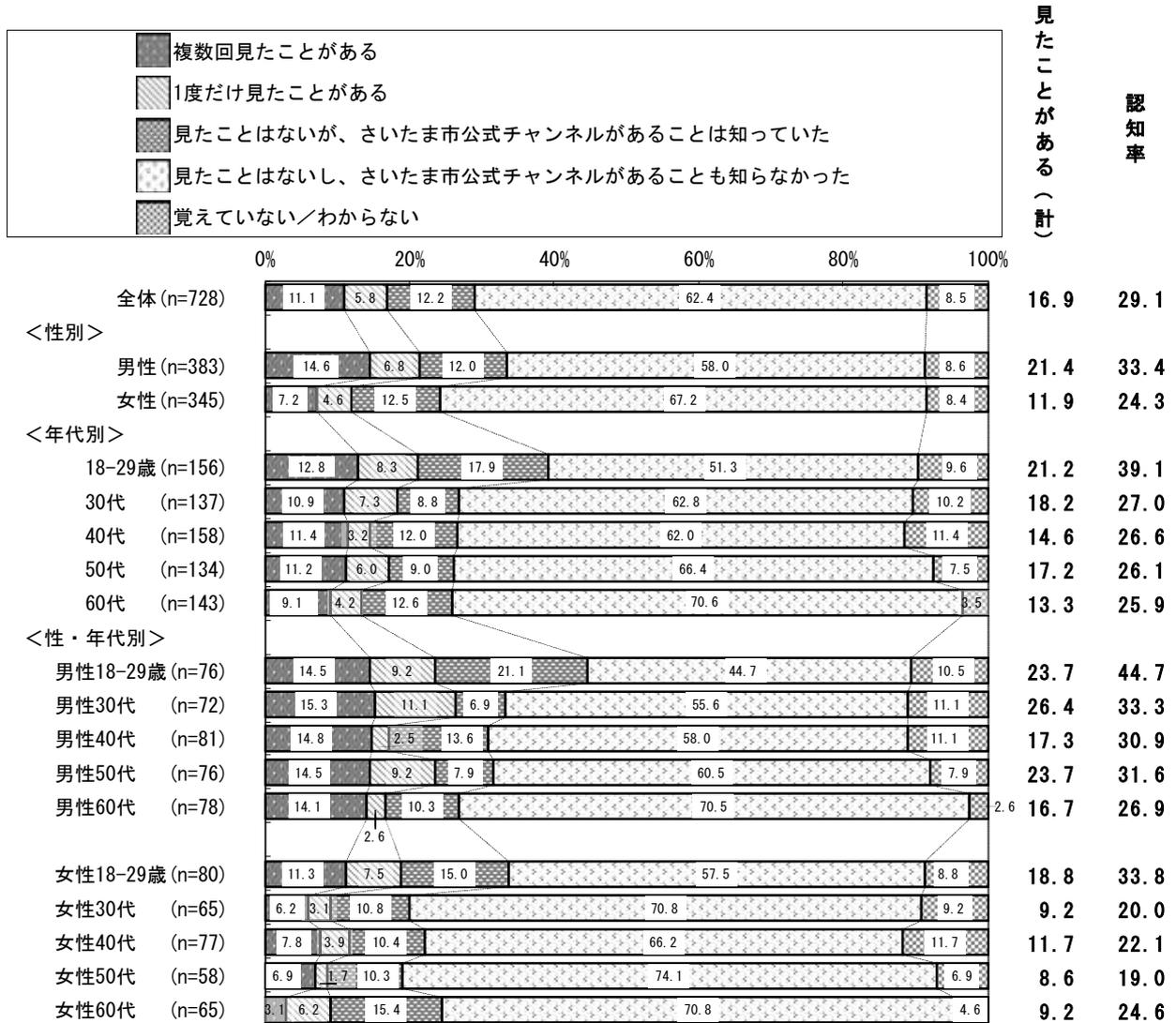
【全体結果】 動画配信サイトやSNSなどで動画を「まったく見ない」以外を回答した人 (864人) に、動画を見るとき、利用するものを聞いたところ、「YouTube」が84%で最も高く、「X (旧Twitter)」(44%)、「Instagram」、「LINE」(ともに42%)が続いた。

- ◎性別で見ると、「YouTube」は、男性 (88%) が女性 (80%) よりも8ポイント高かった。一方、「Instagram」は、女性 (54%) が男性 (31%) よりも23ポイント高かった。
- ◎年代別で見ると、「X (旧Twitter)」、「Instagram」は、年代が下がるにつれ高くなった。
- ◎性・年代別で見ると、「Instagram」は、女性18-29歳 (84%) のみ8割を超えた。

(Q2で、「YouTube」を回答した人が対象)

Q3. さいたま市公式チャンネルの動画を見たことがあるか

あなたは、YouTubeのさいたま市公式チャンネルの動画を見たことがありますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



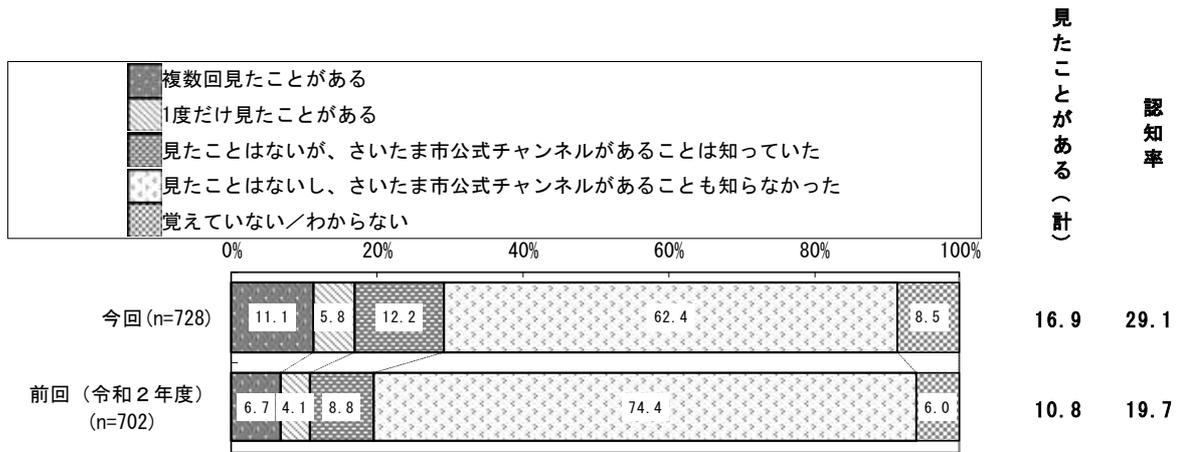
【全体結果】 知りたい情報を「YouTube」で見ることがある人 (728人) に、さいたま市公式チャンネルの動画を見たことがあるか聞いたところ、「複数回見たことがある」(11%)と「1度だけ見たことがある」(6%)を合わせた『見たことがある (計)』は、17%であった。

また、「複数回見たことがある」(11%)と「1度だけ見たことがある」(6%)と「見たことはないが、さいたま市公式チャンネルがあることは知っていた」(12%)を合わせた『認知率』は、29%であった。

◎性別で見ると、『見たことがある (計)』、『認知率』は、男性が女性よりも9ポイント高かった。

◎性・年代別で見ると、『認知率』は、男性では年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18-29歳で45%となった。

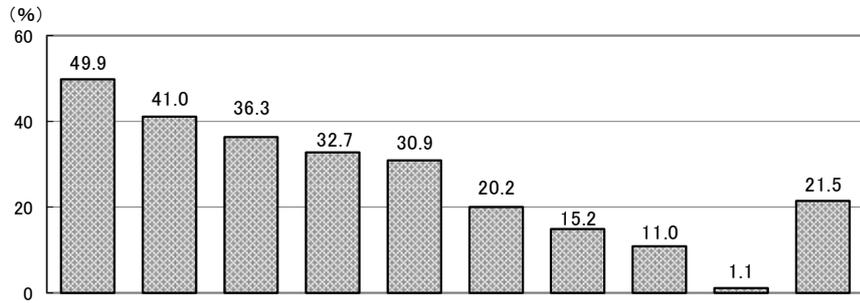
Q3. さいたま市公式チャンネルの動画を見たことがあるか（経年比較）



【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、『見たことがある（計）』、『認知率』は、前回の調査結果よりも6ポイント以上増加した。

Q4. 動画でさいたま市のどんな情報を知りたいか（複数回答）

あなたは、動画でさいたま市のどんな情報を知りたいですか。
 以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		イベント情報	行政サービス	災害情報	公共施設の情報	地域密着の情報	市の施策・計画などの解説	市の歴史や文化	市民活動の紹介	その他	特に知りたいものはない
全体(n=1000)		49.9	41.0	36.3	32.7	30.9	20.2	15.2	11.0	1.1	21.5
性別	男性(n=500)	48.4	41.8	32.2	32.4	30.2	26.0	19.8	11.2	1.2	20.8
	女性(n=500)	51.4	40.2	40.4	33.0	31.6	14.4	10.6	10.8	1.0	22.2
年代別	18-29歳(n=200)	43.5	35.5	28.5	23.0	23.5	27.5	11.5	12.0	1.0	26.5
	30代 (n=200)	53.5	36.5	27.0	30.5	29.0	15.5	13.0	6.5	1.0	24.5
	40代 (n=200)	55.0	39.0	38.0	32.5	32.0	21.5	12.5	11.5	0.5	19.0
	50代 (n=200)	48.5	44.5	40.5	33.5	34.0	20.0	18.0	10.0	1.5	20.0
	60代 (n=200)	49.0	49.5	47.5	44.0	36.0	16.5	21.0	15.0	1.5	17.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	38.0	35.0	24.0	24.0	21.0	33.0	13.0	12.0	0.0	27.0
	男性30代 (n=100)	45.0	40.0	19.0	29.0	30.0	21.0	19.0	6.0	1.0	24.0
	男性40代 (n=100)	53.0	39.0	35.0	31.0	29.0	25.0	17.0	10.0	1.0	22.0
	男性50代 (n=100)	52.0	44.0	39.0	34.0	32.0	25.0	21.0	12.0	2.0	17.0
	男性60代 (n=100)	54.0	51.0	44.0	44.0	39.0	26.0	29.0	16.0	2.0	14.0
	女性18-29歳(n=100)	49.0	36.0	33.0	22.0	26.0	22.0	10.0	12.0	2.0	26.0
	女性30代 (n=100)	62.0	33.0	35.0	32.0	28.0	10.0	7.0	7.0	1.0	25.0
	女性40代 (n=100)	57.0	39.0	41.0	34.0	35.0	18.0	8.0	13.0	0.0	16.0
	女性50代 (n=100)	45.0	45.0	42.0	33.0	36.0	15.0	15.0	8.0	1.0	23.0
	女性60代 (n=100)	44.0	48.0	51.0	44.0	33.0	7.0	13.0	14.0	1.0	21.0

【全体結果】「イベント情報」が50%で最も高く、「行政サービス」(41%)、「災害情報」(36%)が続いた。

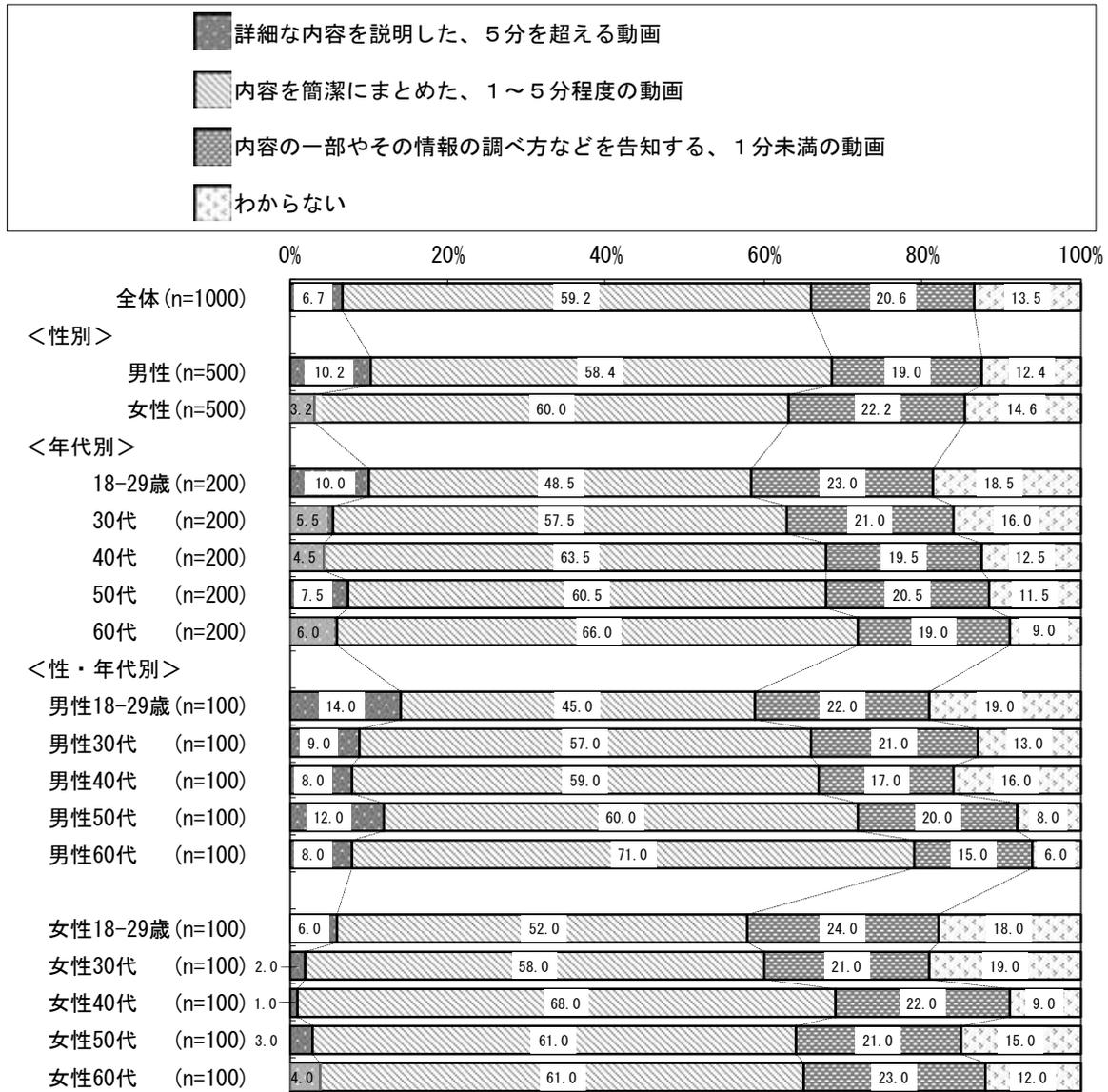
◎性別で見ると、「災害情報」は、女性(40%)が男性(32%)よりも8ポイント高かった。一方、「市の施策・計画などの解説」、「市の歴史や文化」は、男性が女性よりも9ポイント以上高かった。

◎年代別で見ると、「行政サービス」「公共施設の情報」、「地域密着の情報」は、年代が上がるにつれ高くなった。

Q5. 市が配信する動画を見たいと思う長さ

あなたは、知りたい情報を得るために市が配信する動画を見ると、どれぐらいの長さだったら見たいと思いますか。

以下の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。



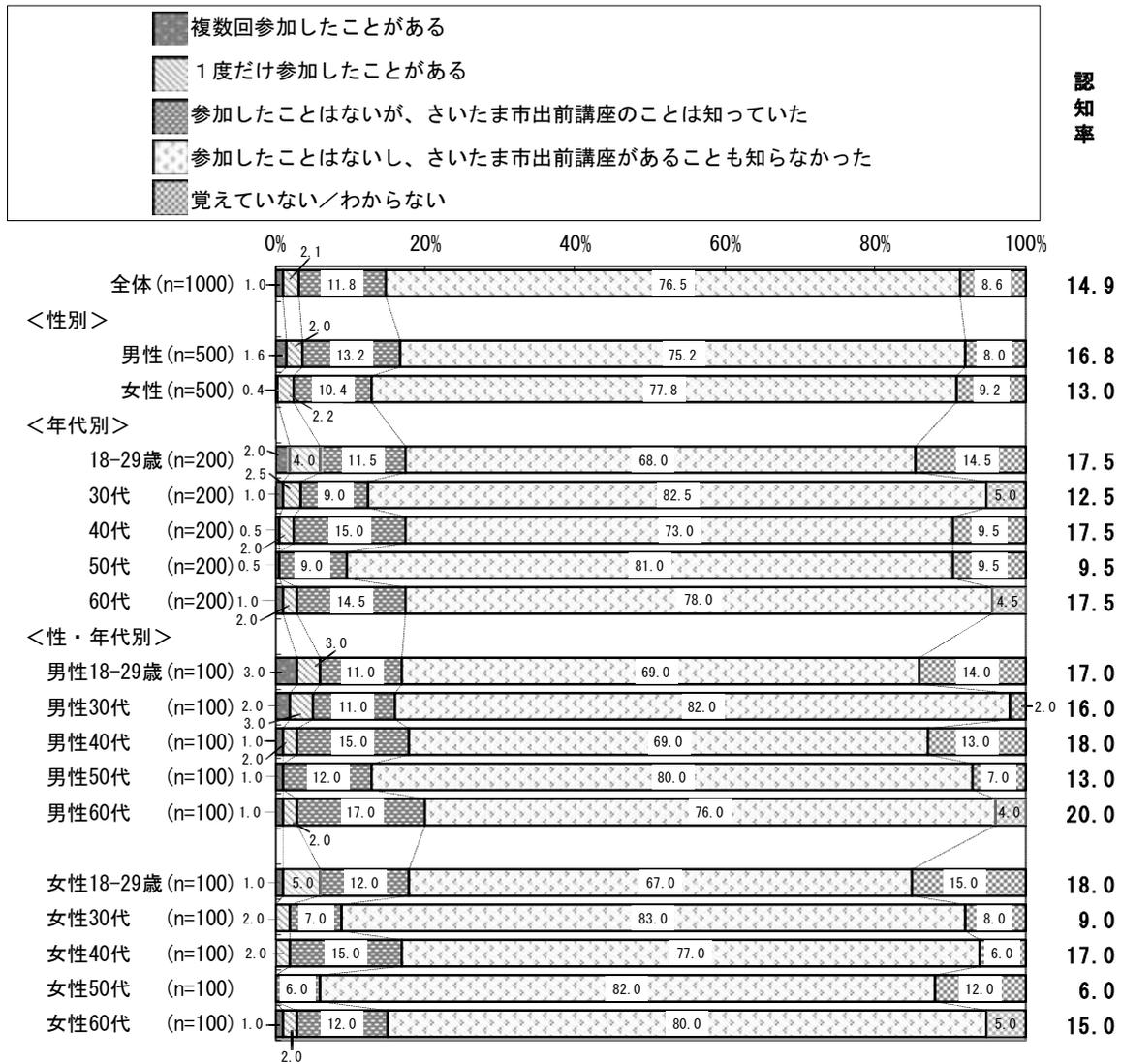
【全体結果】「内容を簡潔にまとめた、1～5分程度の動画」が59%で最も高く、「内容の一部やその情報の調べ方などを告知する、1分未満の動画」は21%、「詳細な内容を説明した、5分を超える動画」は7%であった。

◎性・年代別で見ると、「内容を簡潔にまとめた、1～5分程度の動画」は、男性では年代が上がるにつれ高くなり、60代で71%となった。

【さいたま市出前講座に関する質問】

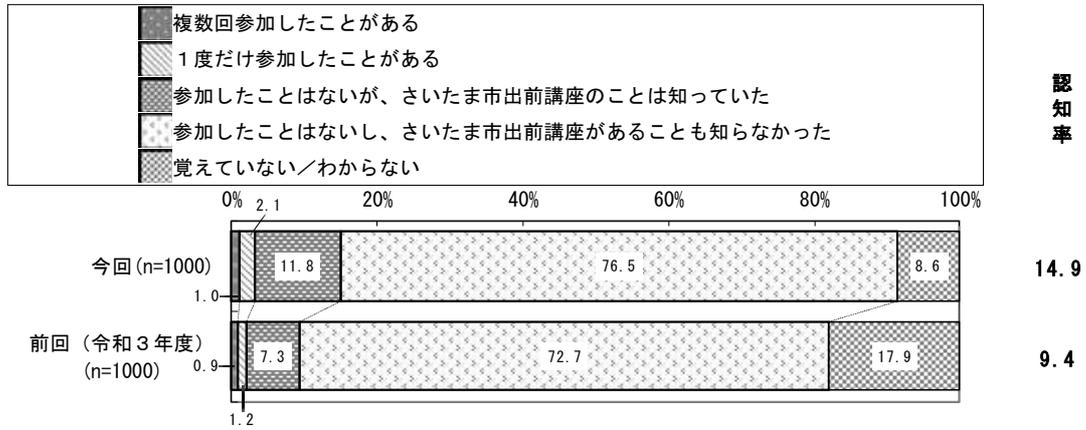
Q6. さいたま市出前講座への参加の有無

あなたは、さいたま市出前講座に参加したことがありますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「複数回参加したことがある」(1%)と「1度だけ参加したことがある」(2%)と「参加したことはないが、さいたま市出前講座のことは知っていた」(12%)を合わせた『認知率』は、15%であった。

Q 6. さいたま市出前講座への参加の有無（経年比較）



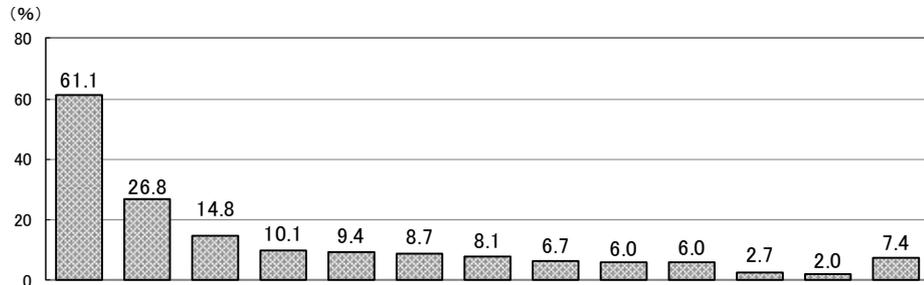
【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、『認知率』(15%)は、前回の調査結果(9%)よりも6ポイント増加した。

(Q6で、「複数回参加したことがある」、「1度だけ参加したことがある」、「参加したことはないが、さいたま市出前講座のことは知っていた」を回答した人が対象)

Q7. さいたま市出前講座の認知経路 (複数回答)

あなたは、さいたま市出前講座のことを、何で知りましたか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



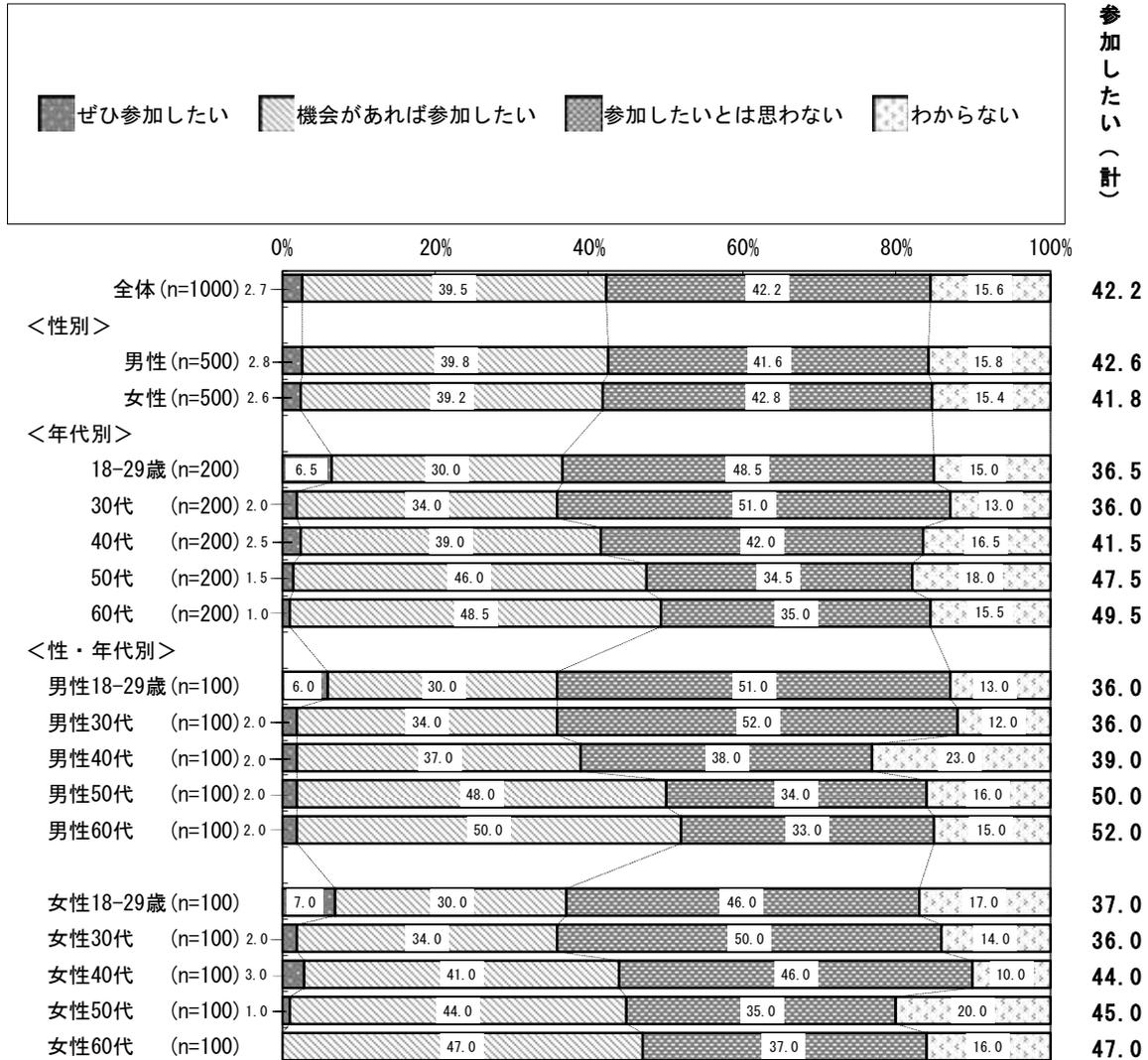
	「市報さいたま」	市のホームページ	さいたま市出前講座テーマ集	市公式YouTubeチャンネル	その他の市の情報誌(紙)・冊子	FAX(旧TownLetter)・LINE	区役所の電光掲示板	家族や友人・知人の話	その他のインターネット	市の職員からの案内	加所属する団体等で行った出前講座に参加	その他	覚えていない/わからない
全体(n=149)	61.1	26.8	14.8	10.1	9.4	8.7	8.1	6.7	6.0	6.0	2.7	2.0	7.4
性別													
男性(n=84)	57.1	28.6	15.5	9.5	10.7	11.9	10.7	4.8	6.0	4.8	3.6	2.4	10.7
女性(n=65)	66.2	24.6	13.8	10.8	7.7	4.6	4.6	9.2	6.2	7.7	1.5	1.5	3.1
年代別													
18-29歳(n=35)	48.6	28.6	22.9	20.0	11.4	17.1	14.3	8.6	14.3	14.3	5.7	2.9	2.9
30代(n=25)	48.0	28.0	24.0	4.0	16.0	16.0	8.0	12.0	8.0	0.0	0.0	0.0	12.0
40代(n=35)	71.4	17.1	11.4	14.3	2.9	0.0	8.6	2.9	2.9	5.7	0.0	2.9	11.4
50代(n=19)	63.2	31.6	10.5	0.0	5.3	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5
60代(n=35)	71.4	31.4	5.7	5.7	11.4	2.9	2.9	8.6	2.9	5.7	2.9	2.9	2.9
性・年代別													
男性18-29歳(n=17)	35.3	23.5	29.4	23.5	17.6	23.5	11.8	5.9	11.8	11.8	5.9	5.9	5.9
男性30代(n=16)	37.5	31.3	25.0	6.3	18.8	18.8	12.5	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	18.8
男性40代(n=18)	72.2	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	16.7	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	16.7
男性50代(n=13)	61.5	30.8	7.7	0.0	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4
男性60代(n=20)	75.0	35.0	5.0	5.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0
女性18-29歳(n=18)	61.1	33.3	16.7	16.7	5.6	11.1	16.7	11.1	16.7	16.7	5.6	0.0	0.0
女性30代(n=9)	66.7	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性40代(n=17)	70.6	11.8	11.8	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9
女性50代(n=6)	66.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性60代(n=15)	66.7	26.7	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7

【全体結果】 さいたま市出前講座を知っていた人(149人)に、その認知経路を聞いたところ、「市報さいたま」が61%で最も高く、「市のホームページ」(27%)、「さいたま市出前講座テーマ集」(15%)が続いた。

Q8. これからさいたま市出前講座に参加したいと思うか

あなたは、これからさいたま市出前講座に参加したいと思いますか。

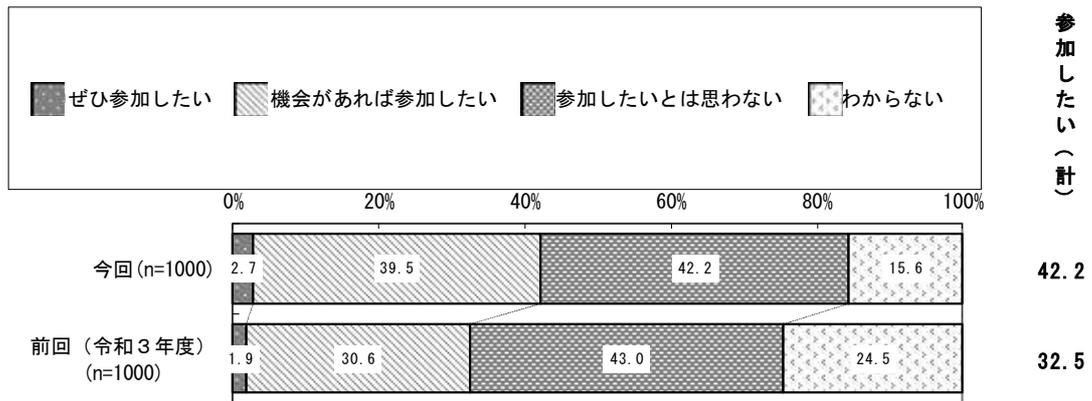
これまでに参加したことがある人は、もう一度参加したいと思うかをお答えください。



【全体結果】「ぜひ参加したい」(3%)と「機会があれば参加したい」(40%)を合わせた『参加したい (計)』は、42%であった。

◎年代別で見ると、『参加したい (計)』は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で50%となった。

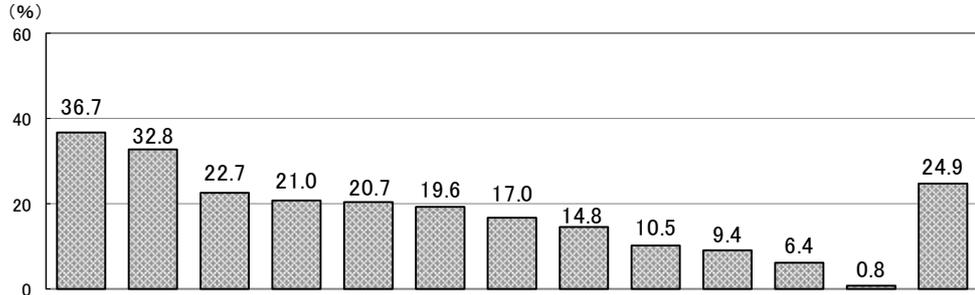
Q 8. これからさいたま市出前講座に参加したいと思うか（経年比較）



【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、『参加したい（計）』（42%）は、前回の調査結果（33%）よりも9ポイント増加した。

Q9. さいたま市出前講座のテーマで興味があるもの（複数回答）

あなたは、さいたま市出前講座のテーマの中で、興味があるものはありますか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



	税金・手続きに関するテーマ	防災に関するテーマ	福祉・健康に関するテーマ	市の施設に関するテーマ	まちづくりに関するテーマ	子育てに関するテーマ	市の魅力に関するテーマ	域活動や仕事、人権、ペットなどの	環境・水に関するテーマ	市政のしくみなどの市役所・区役所に	学ぶことができるテーマ	特定の分野ではなく、市について広く	その他	特にない／わからない
全体(n=1000)	36.7	32.8	22.7	21.0	20.7	19.6	17.0	14.8	10.5	9.4	6.4	0.8	24.9	
性別	男性(n=500)	36.8	33.2	18.4	23.8	26.2	16.8	19.8	12.6	11.8	11.6	7.4	0.6	25.0
	女性(n=500)	36.6	32.4	27.0	18.2	15.2	22.4	14.2	17.0	9.2	7.2	5.4	1.0	24.8
年代別	18-29歳(n=200)	35.5	23.0	18.5	22.5	23.0	27.0	18.5	14.0	9.5	9.5	5.0	0.0	26.5
	30代 (n=200)	38.0	22.5	14.0	17.0	14.0	40.5	16.0	10.5	9.5	8.0	7.0	0.0	25.0
	40代 (n=200)	35.0	33.5	20.5	22.5	22.0	23.5	20.5	17.5	7.5	11.5	4.5	1.5	25.0
	50代 (n=200)	37.0	41.0	28.5	18.0	22.5	6.0	16.0	17.0	12.5	10.0	6.0	1.0	24.0
	60代 (n=200)	38.0	44.0	32.0	25.0	22.0	1.0	14.0	15.0	13.5	8.0	9.5	1.5	24.0
性別・年代別	男性18-29歳(n=100)	29.0	23.0	15.0	21.0	22.0	19.0	20.0	8.0	12.0	9.0	4.0	0.0	28.0
	男性30代 (n=100)	41.0	14.0	14.0	21.0	18.0	32.0	20.0	11.0	8.0	10.0	8.0	0.0	28.0
	男性40代 (n=100)	37.0	36.0	13.0	23.0	29.0	24.0	25.0	15.0	9.0	16.0	6.0	1.0	26.0
	男性50代 (n=100)	36.0	46.0	19.0	24.0	32.0	7.0	18.0	20.0	13.0	10.0	8.0	1.0	21.0
	男性60代 (n=100)	41.0	47.0	31.0	30.0	30.0	2.0	16.0	9.0	17.0	13.0	11.0	1.0	22.0
	女性18-29歳(n=100)	42.0	23.0	22.0	24.0	24.0	35.0	17.0	20.0	7.0	10.0	6.0	0.0	25.0
	女性30代 (n=100)	35.0	31.0	14.0	13.0	10.0	49.0	12.0	10.0	11.0	6.0	6.0	0.0	22.0
	女性40代 (n=100)	33.0	31.0	28.0	22.0	15.0	23.0	16.0	20.0	6.0	7.0	3.0	2.0	24.0
	女性50代 (n=100)	38.0	36.0	38.0	12.0	13.0	5.0	14.0	14.0	12.0	10.0	4.0	1.0	27.0
	女性60代 (n=100)	35.0	41.0	33.0	20.0	14.0	0.0	12.0	21.0	10.0	3.0	8.0	2.0	26.0

【全体結果】「税金・手続きに関するテーマ」が37%で最も高く、「防災に関するテーマ」(33%)、「福祉・健康に関するテーマ」(23%)が続いた。

一方、「特にない／わからない」は、25%であった。

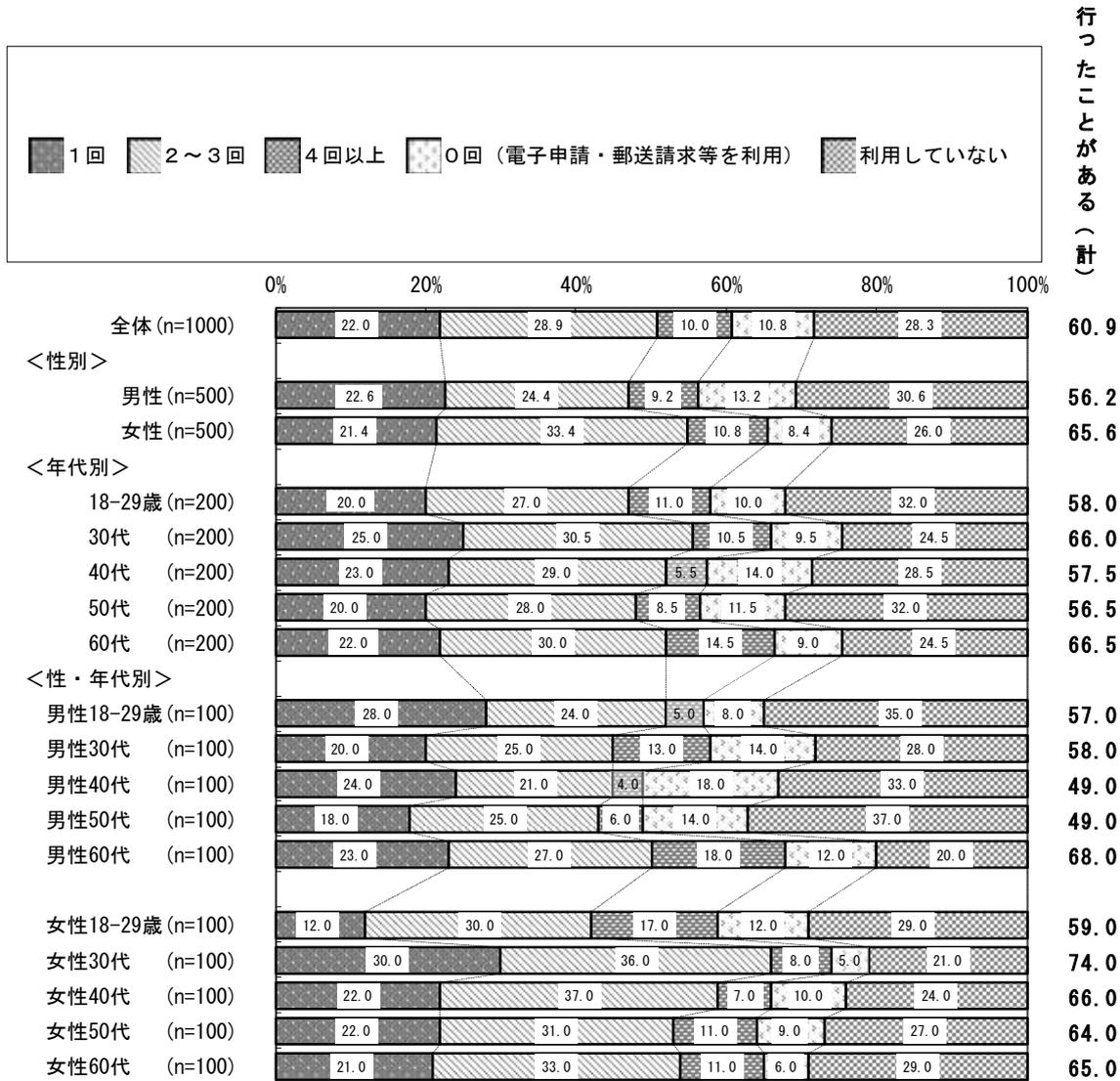
◎性別で見ると、「福祉・健康に関するテーマ」、「子育てに関するテーマ」は、女性が男性よりも5ポイント以上高かった。一方、「市の施設に関するテーマ」、「まちづくりに関するテーマ」、「市の魅力に関するテーマ」は、男性が女性よりも6ポイント以上高かった。

◎年代別で見ると、「防災に関するテーマ」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で44%となった。

【区役所における窓口サービスに関する質問】

Q10. 1年以内に区役所等へ行った回数

あなたは、最近1年間に、さいたま市の区役所や支所・市民の窓口は何回行きましたか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「1回」(22%)と「2~3回」(29%)と「4回以上」(10%)を合わせた『行ったことがある(計)』は、61%であった。

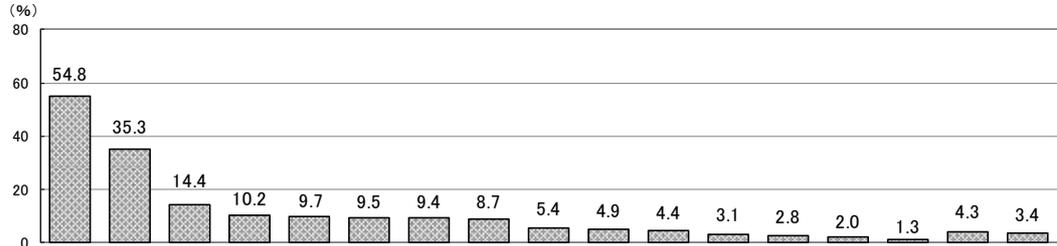
◎性別で見ると、『行ったことがある(計)』は、女性(66%)が男性(56%)よりも10ポイント高かった。

◎性・年代別で見ると、『行ったことがある(計)』は、女性30代(74%)のみ7割を超えた。

(Q10で、「1回」、「2～3回」、「4回以上」を回答した人が対象)

Q11. 1年以内に区役所等を利用した用件 (複数回答)

あなたは、最近1年間に、さいたま市の区役所や支所・市民の窓口をどのような用件で利用しましたか。以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



	各種証明書等の取得(住民票の写し、戸籍簿、印鑑登録証明書、税証明書など)	印鑑登録またはマイナンバーカードに関する手続き	引越しに伴う届出(転入届、転居届など)	税の申告、納付、相談など	障害者福祉に関する手続き(障害者手帳、各種手帳など)	戸籍の届出(出生届、婚姻届、死亡届など)	国民健康保険に関する手続き(加入・脱退、高額療養費など)	児童福祉に関する手続き(保育園、児童手当など)	母子保健に関すること(乳幼児の健診、育児の相談など)	国民年金に関する手続き	高齢者福祉に関する手続き(介護保険、高齢者福祉サービスなど)	後期高齢者医療・福祉医療に関する手続き(子育て支援医療、ひとり親家庭等医療、心身障害者医療など)	情報公開コーナーの利用	上下水道の開始や中止の手続き、料金の支払いなど	生活保護の申請・相談	その他	覚えていない
全体(n=609)	54.8	35.3	14.4	10.2	9.7	9.5	9.4	8.7	5.4	4.9	4.4	3.1	2.8	2.0	1.3	4.3	3.4
性別																	
男性(n=281)	58.4	34.9	13.5	8.9	6.8	12.1	9.6	6.0	2.5	5.0	3.9	2.5	4.3	2.5	2.5	3.2	4.3
女性(n=328)	51.8	35.7	15.2	11.3	12.2	7.3	9.1	11.0	7.9	4.9	4.9	3.7	1.5	1.5	0.3	5.2	2.7
年代別																	
18-29歳(n=116)	55.2	37.9	32.8	7.8	5.2	16.4	12.9	12.1	7.8	10.3	2.6	1.7	2.6	3.4	1.7	0.9	3.4
30代 (n=132)	45.5	42.4	16.7	5.3	9.1	15.2	3.8	17.4	15.2	3.0	1.5	1.5	3.0	1.5	0.8	2.3	1.5
40代 (n=115)	53.0	32.2	8.7	12.2	12.2	3.5	2.6	9.6	2.6	1.7	0.9	2.6	1.7	1.7	0.0	3.5	7.0
50代 (n=113)	59.3	35.4	10.6	9.7	13.3	7.1	12.4	4.4	0.9	5.3	8.0	9.7	3.5	1.8	1.8	6.2	1.8
60代 (n=133)	61.7	28.6	4.5	15.8	9.0	5.3	15.0	0.0	0.0	4.5	9.0	0.8	3.0	1.5	2.3	8.3	3.8
性別・年代別																	
男性18-29歳(n=57)	50.9	33.3	29.8	5.3	5.3	10.5	5.3	5.3	1.8	7.0	3.5	1.8	1.8	5.3	1.8	0.0	5.3
男性30代 (n=58)	58.6	36.2	17.2	5.2	6.9	24.1	5.2	12.1	8.6	1.7	1.7	1.7	5.2	3.4	1.7	1.7	1.7
男性40代 (n=49)	53.1	38.8	4.1	8.2	6.1	6.1	4.1	4.1	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	8.2	6.1
男性50代 (n=49)	65.3	36.7	12.2	4.1	10.2	12.2	16.3	10.2	2.0	8.2	6.1	6.1	8.2	2.0	4.1	2.0	2.0
男性60代 (n=68)	63.2	30.9	4.4	19.1	5.9	7.4	16.2	0.0	0.0	5.9	7.4	1.5	5.9	1.5	4.4	4.4	5.9
女性18-29歳(n=59)	59.3	42.4	35.6	10.2	5.1	22.0	20.3	18.6	13.6	13.6	1.7	1.7	3.4	1.7	1.7	1.7	1.7
女性30代 (n=74)	35.1	47.3	16.2	5.4	10.8	8.1	2.7	21.6	20.3	4.1	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	2.7	1.4
女性40代 (n=66)	53.0	27.3	12.1	15.2	16.7	1.5	1.5	13.6	4.5	1.5	1.5	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	7.6
女性50代 (n=64)	54.7	34.4	9.4	14.1	15.6	3.1	9.4	0.0	0.0	3.1	9.4	12.5	0.0	1.6	0.0	9.4	1.6
女性60代 (n=65)	60.0	26.2	4.6	12.3	12.3	3.1	13.8	0.0	0.0	3.1	10.8	0.0	0.0	1.5	0.0	12.3	1.5

【全体結果】最近1年間に、さいたま市の区役所や支所・市民の窓口に行ったことがある人(609人)に、利用した用件を聞いたところ、「各種証明書の取得」が55%で最も高く、「印鑑登録またはマイナンバーカードに関する手続き」(35%)、「引越しに伴う届出」(14%)が続いた。

◎性別で見ると、「各種証明書の取得」は、男性(58%)が女性(52%)よりも6ポイント高かった。

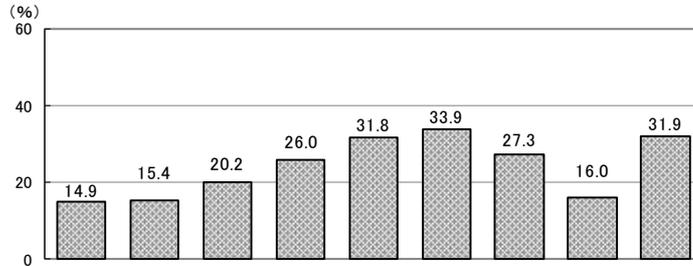
Q12. 区役所が開いていると便利だと思う時間帯（複数回答）

あなたは、いつ区役所が開いていると便利だと思いますか。

以下の表の中から、平日（月～金）と土日のそれぞれ、あてはまるものをすべて選んでください。

※平日の8:30～17:15 だけ開いていればよいという方は、「希望する時間帯はない」にチェックしてください。

1. 平日（月～金）



	7:00～8:00	8:00～9:00	9:00～10:00	10:00～11:00	11:00～12:00	12:00～13:00	13:00～14:00	14:00～15:00	15:00～16:00	希望する時間帯はない
全体(n=1000)	14.9	15.4	20.2	26.0	31.8	33.9	27.3	16.0	31.9	32.0
性別	男性(n=500)	13.0	13.0	16.0	20.0	26.4	34.6	32.0	18.0	34.8
	女性(n=500)	16.8	17.8	24.4	32.0	37.2	33.2	22.6	14.0	29.0
年代別	18-29歳(n=200)	15.5	14.0	18.5	27.5	32.5	40.5	36.5	21.5	27.5
	30代 (n=200)	17.5	19.5	24.5	32.0	37.0	38.5	30.5	20.5	25.0
	40代 (n=200)	12.0	13.5	19.0	22.5	33.0	37.5	28.5	16.5	31.5
	50代 (n=200)	15.5	14.5	17.0	21.5	30.0	31.0	26.0	13.0	32.0
	60代 (n=200)	14.0	15.5	22.0	26.5	26.5	22.0	15.0	8.5	43.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	16.0	14.0	10.0	20.0	24.0	37.0	38.0	20.0	33.0
	男性30代 (n=100)	18.0	14.0	19.0	24.0	32.0	43.0	33.0	25.0	30.0
	男性40代 (n=100)	7.0	9.0	13.0	15.0	23.0	29.0	31.0	16.0	40.0
	男性50代 (n=100)	8.0	9.0	14.0	15.0	24.0	35.0	35.0	15.0	32.0
	男性60代 (n=100)	16.0	19.0	24.0	26.0	29.0	29.0	23.0	14.0	39.0
	女性18-29歳(n=100)	15.0	14.0	27.0	35.0	41.0	44.0	35.0	23.0	22.0
	女性30代 (n=100)	17.0	25.0	30.0	40.0	42.0	34.0	28.0	16.0	20.0
	女性40代 (n=100)	17.0	18.0	25.0	30.0	43.0	46.0	26.0	17.0	23.0
	女性50代 (n=100)	23.0	20.0	20.0	28.0	36.0	27.0	17.0	11.0	32.0
	女性60代 (n=100)	12.0	12.0	20.0	27.0	24.0	15.0	7.0	3.0	48.0

【全体結果】「19:00～20:00」が34%で最も高く、「18:00～19:00」、「希望する時間帯はない」（ともに32%）が続いた。

◎性別で見ると、「20:00～21:00」、「希望する時間帯はない」は、男性が女性よりも6ポイント以上高かった。一方、8:00～19:00の時間帯は、女性が男性よりも5ポイント以上高かった。

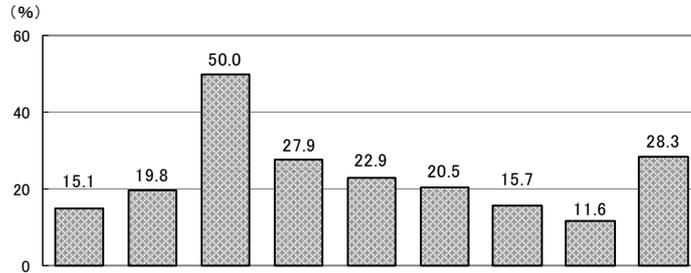
◎年代別で見ると、19:00～翌7:30の時間帯は、年代が下がるにつれ高くなった。

Q12. 区役所が開いていると便利だと思う時間帯（複数回答）

あなたは、いつ区役所が開いていると便利だと思いますか。

以下の表の中から、平日（月～金）と土日のそれぞれ、あてはまるものをすべて選んでください。

2. 土日



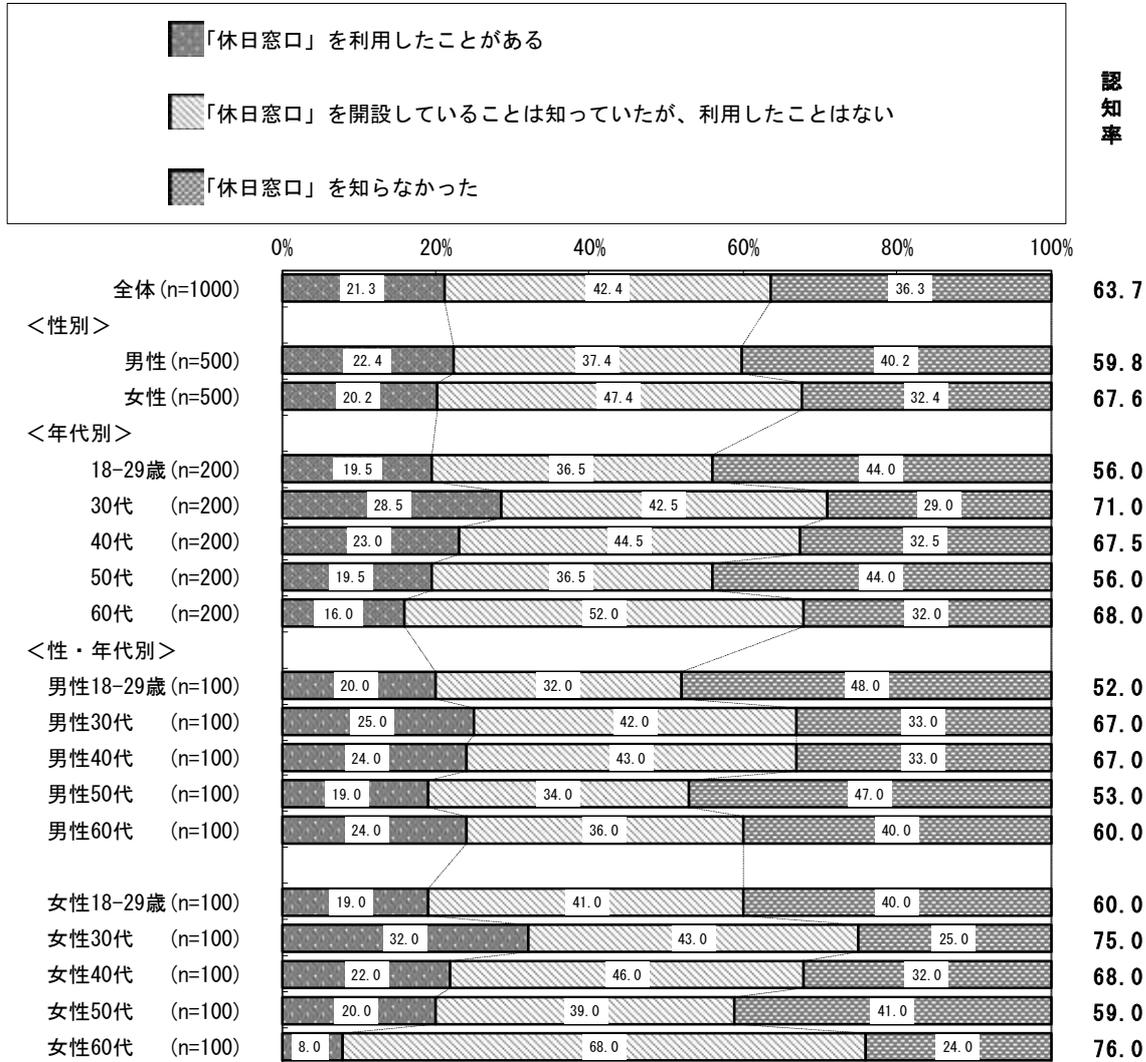
		7 : 3 0 5 8 : 0 0	8 : 0 5 8 : 3 0	8 : 3 0 5 1 : 7 : 5	1 7 : 1 5 : 8 : 0	1 8 : 0 5 : 1 : 0	1 9 : 0 5 : 2 : 0	2 0 : 0 5 : 2 : 0	2 1 : 0 5 : 7 : 3	希望する時間帯はない
全体(n=1000)		15.1	19.8	50.0	27.9	22.9	20.5	15.7	11.6	28.3
性別	男性(n=500)	14.8	19.0	47.2	24.0	19.6	19.2	16.4	11.6	30.8
	女性(n=500)	15.4	20.6	52.8	31.8	26.2	21.8	15.0	11.6	25.8
年代別	18-29歳(n=200)	17.5	23.0	44.0	35.0	30.0	26.5	22.0	15.0	32.5
	30代 (n=200)	17.5	24.0	58.5	35.0	27.0	23.5	18.5	15.0	19.5
	40代 (n=200)	15.0	20.5	56.0	28.0	24.5	22.0	14.5	11.0	22.5
	50代 (n=200)	14.5	18.5	47.5	22.5	19.0	18.5	15.5	10.0	28.0
	60代 (n=200)	11.0	13.0	44.0	19.0	14.0	12.0	8.0	7.0	39.0
性別・年代別	男性18-29歳(n=100)	17.0	21.0	36.0	23.0	20.0	21.0	18.0	9.0	40.0
	男性30代 (n=100)	23.0	27.0	51.0	33.0	27.0	27.0	21.0	19.0	25.0
	男性40代 (n=100)	12.0	16.0	54.0	23.0	20.0	15.0	14.0	10.0	25.0
	男性50代 (n=100)	9.0	15.0	47.0	18.0	15.0	17.0	17.0	9.0	28.0
	男性60代 (n=100)	13.0	16.0	48.0	23.0	16.0	16.0	12.0	11.0	36.0
	女性18-29歳(n=100)	18.0	25.0	52.0	47.0	40.0	32.0	26.0	21.0	25.0
	女性30代 (n=100)	12.0	21.0	66.0	37.0	27.0	20.0	16.0	11.0	14.0
	女性40代 (n=100)	18.0	25.0	58.0	33.0	29.0	29.0	15.0	12.0	20.0
	女性50代 (n=100)	20.0	22.0	48.0	27.0	23.0	20.0	14.0	11.0	28.0
女性60代 (n=100)	9.0	10.0	40.0	15.0	12.0	8.0	4.0	3.0	42.0	

【全体結果】「8:30~17:15」が50%で最も高く、「17:15~18:00」、「希望する時間帯はない」（ともに28%）が続いた。

- ◎性別で見ると、8:30~19:00の時間帯は、女性が男性よりも6ポイント以上高かった。一方、「希望する時間帯はない」は、男性（31%）が女性（26%）よりも5ポイント高かった。
- ◎年代別で見ると、18:00~20:00の時間帯は、年代が下がるにつれ高くなった。

Q13. 休日窓口の利用経験

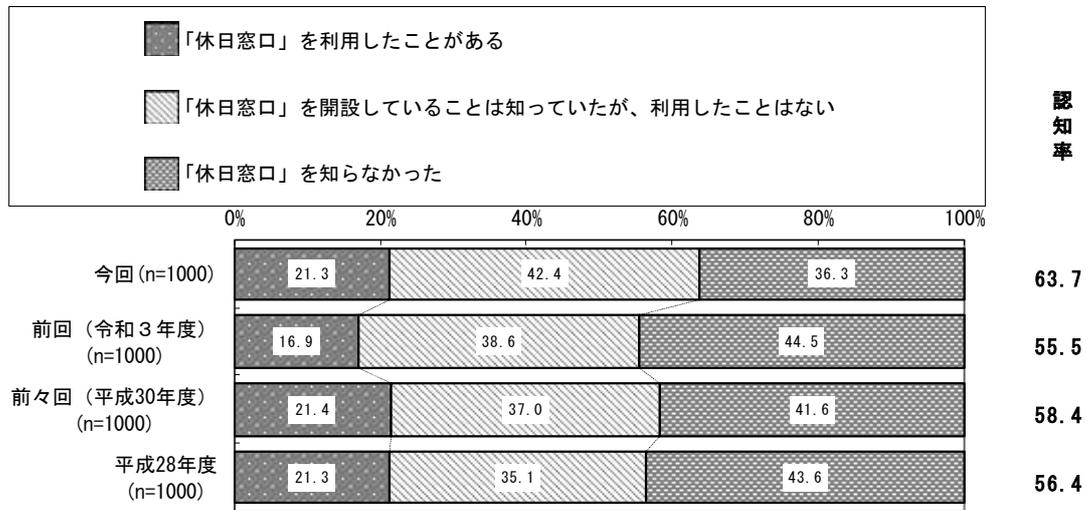
あなたは、「休日窓口」を利用したことがありますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「休日窓口」を利用したことがある(21%)と「休日窓口」を開設していることは知っていたが、利用したことはない(42%)を合わせた『認知率』は、64%であった。

◎性別で見ると、『認知率』は、女性(68%)が男性(60%)よりも8ポイント高かった。

Q 1 3. 休日窓口の利用経験（経年比較）

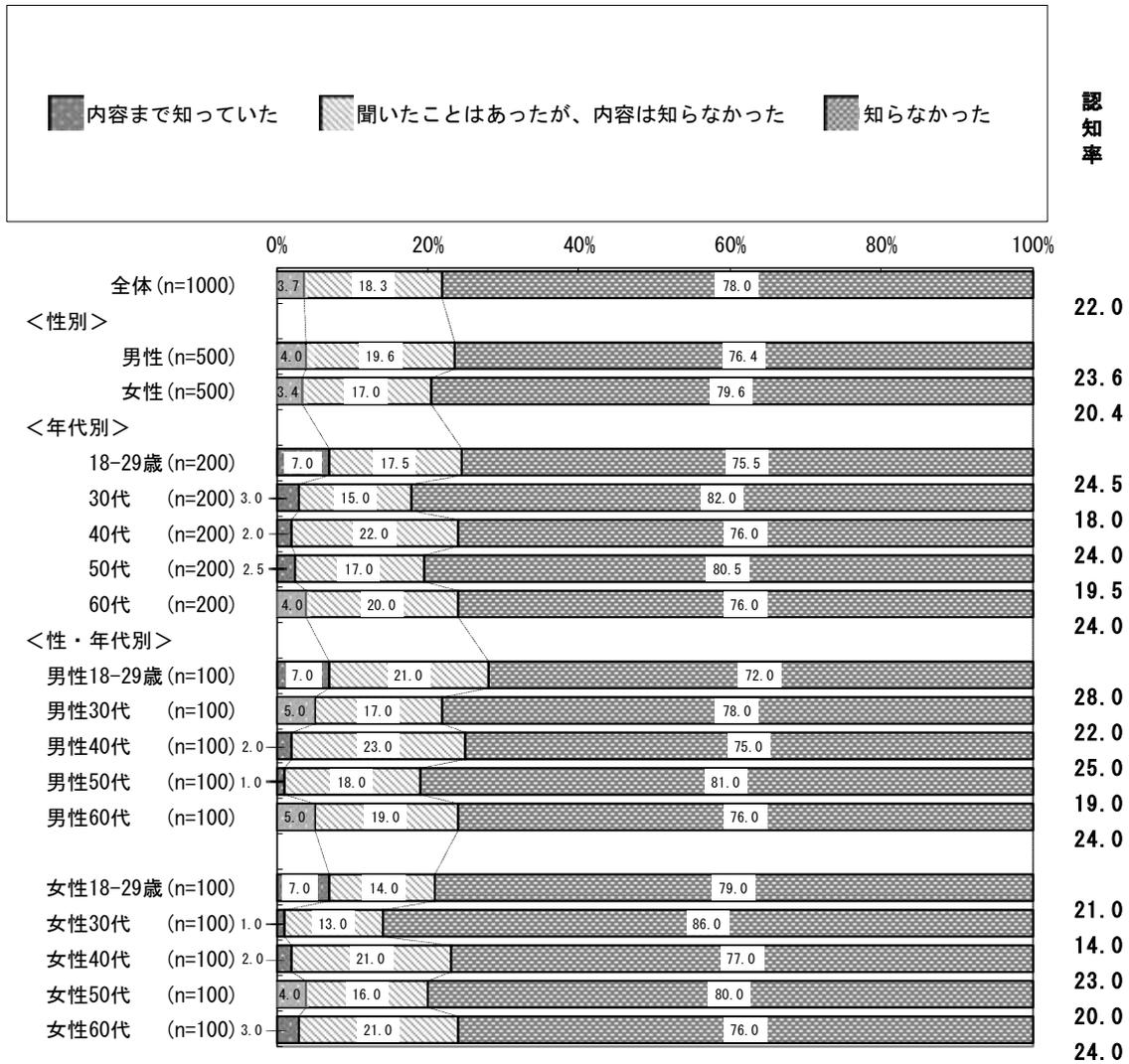


【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、『認知率』(64%)は、前回の調査結果(56%)よりも8ポイント増加した。

【福祉まるごと相談窓口に関する質問】

Q14. 「福祉まるごと相談窓口」の認知度

あなたは、「福祉まるごと相談窓口」について、知っていましたか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



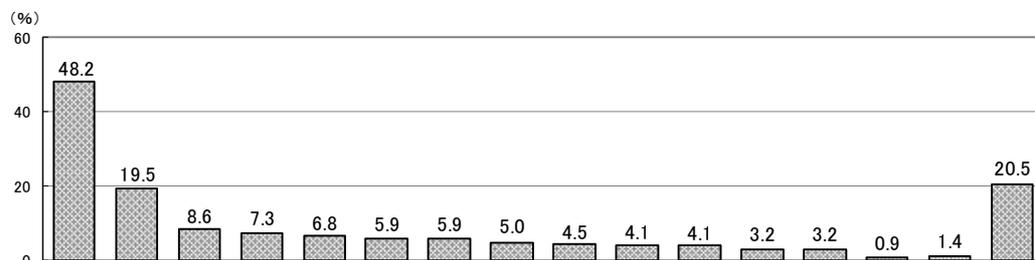
【全体結果】「内容まで知っていた」(4%)と「聞いたことはあったが、内容は知らなかった」(18%)を合わせた『認知率』は、22%であった。

(Q14で、「内容まで知っていた」、「聞いたことはあったが、内容は知らなかった」を回答した人が対象)

Q15. 「福祉まるごと相談窓口」の認知経路（複数回答）

あなたは、「福祉まるごと相談窓口」のことを、何で知りましたか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



	「市報さいたま」	市のホームページ	Fa X (旧 Twitter)・LINE	その他の市の情報誌(紙)・冊子	「福祉まるごと相談窓口」のチラシ	新聞・雑誌	その他のインターネット	市の自治会回覧	家族や友人・知人の話	区役所の電光掲示板	市の職員からの案内	テレビ	地域の支援機関・団体からの案内	ラジオ	その他	覚えていない／わからない
全体(n=220)	48.2	19.5	8.6	7.3	6.8	5.9	5.9	5.0	4.5	4.1	4.1	3.2	3.2	0.9	1.4	20.5
性別																
男性(n=118)	42.4	22.0	11.9	9.3	5.9	6.8	4.2	8.5	4.2	5.1	4.2	4.2	3.4	0.8	0.8	20.3
女性(n=102)	54.9	16.7	4.9	4.9	7.8	4.9	7.8	1.0	4.9	2.9	3.9	2.0	2.9	1.0	2.0	20.6
年代別																
18-29歳(n=49)	38.8	16.3	16.3	12.2	18.4	10.2	12.2	4.1	10.2	4.1	4.1	2.0	6.1	2.0	2.0	14.3
30代 (n=36)	41.7	16.7	11.1	2.8	0.0	13.9	0.0	2.8	2.8	8.3	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	33.3
40代 (n=48)	58.3	16.7	4.2	10.4	4.2	2.1	2.1	4.2	6.3	2.1	4.2	4.2	2.1	2.1	0.0	18.8
50代 (n=39)	59.0	20.5	7.7	0.0	7.7	2.6	10.3	5.1	0.0	5.1	2.6	2.6	5.1	0.0	5.1	12.8
60代 (n=48)	43.8	27.1	4.2	8.3	2.1	2.1	4.2	8.3	2.1	2.1	8.3	4.2	2.1	0.0	0.0	25.0
性・年代別																
男性18-29歳(n=28)	32.1	21.4	17.9	10.7	14.3	10.7	7.1	7.1	7.1	3.6	0.0	3.6	3.6	0.0	3.6	14.3
男性30代 (n=22)	36.4	13.6	13.6	4.5	0.0	18.2	0.0	4.5	4.5	13.6	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	27.3
男性40代 (n=25)	48.0	12.0	8.0	12.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	24.0
男性50代 (n=19)	73.7	21.1	10.5	0.0	10.5	0.0	10.5	10.5	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3
男性60代 (n=24)	29.2	41.7	8.3	16.7	4.2	4.2	4.2	16.7	4.2	4.2	12.5	4.2	4.2	0.0	0.0	29.2
女性18-29歳(n=21)	47.6	9.5	14.3	14.3	23.8	9.5	19.0	0.0	14.3	4.8	9.5	0.0	9.5	4.8	0.0	14.3
女性30代 (n=14)	50.0	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
女性40代 (n=23)	69.6	21.7	0.0	8.7	8.7	4.3	4.3	4.3	8.7	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	13.0
女性50代 (n=20)	45.0	20.0	5.0	0.0	5.0	5.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	20.0
女性60代 (n=24)	58.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	20.8

【全体結果】 福祉まるごと相談窓口を知っていた人 (220 人) に、その認知経路を聞いたところ、「市報さいたま」が48%で最も高く、「市のホームページ」(20%)が続いた。

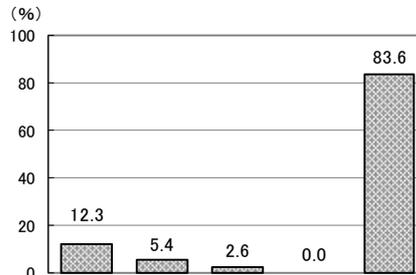
◎性別で見ると、「市報さいたま」は、女性 (55%) が男性 (42%) よりも 13 ポイント高かった。一方、「市のホームページ」は、男性 (22%) が女性 (17%) よりも 5 ポイント高かった。

【食品ロスに関する質問】

Q16. 知っていた食品ロスの取組（複数回答）

さいたま市では、食品ロス（まだ食べられるのに捨てられてしまう食品）削減のため、以下のような取組を行っています。

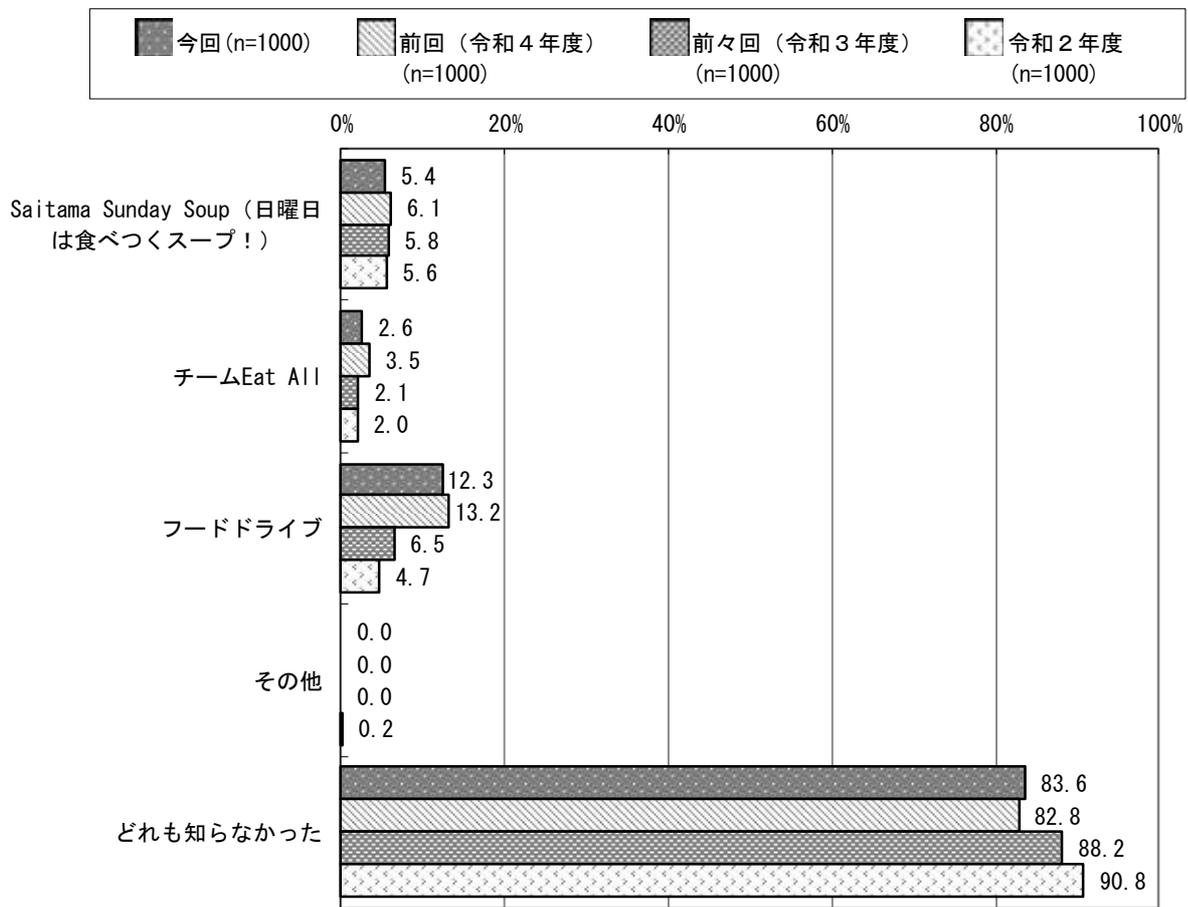
以下の中から、知っていた取組をすべて選んでください。



		フードドライブ	スープ（日曜日は食べつくす！）	チームEat All	その他	どれも知らなかった
全体(n=1000)		12.3	5.4	2.6	0.0	83.6
性別	男性(n=500)	10.2	4.4	3.6	0.0	85.8
	女性(n=500)	14.4	6.4	1.6	0.0	81.4
年代別	18-29歳(n=200)	11.5	8.5	6.5	0.0	81.0
	30代 (n=200)	11.0	6.0	2.5	0.0	83.5
	40代 (n=200)	11.5	5.5	2.0	0.0	84.5
	50代 (n=200)	13.0	3.0	1.0	0.0	86.0
	60代 (n=200)	14.5	4.0	1.0	0.0	83.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	7.0	7.0	9.0	0.0	84.0
	男性30代 (n=100)	11.0	8.0	4.0	0.0	83.0
	男性40代 (n=100)	10.0	1.0	1.0	0.0	88.0
	男性50代 (n=100)	13.0	3.0	2.0	0.0	86.0
	男性60代 (n=100)	10.0	3.0	2.0	0.0	88.0
	女性18-29歳(n=100)	16.0	10.0	4.0	0.0	78.0
	女性30代 (n=100)	11.0	4.0	1.0	0.0	84.0
	女性40代 (n=100)	13.0	10.0	3.0	0.0	81.0
	女性50代 (n=100)	13.0	3.0	0.0	0.0	86.0
	女性60代 (n=100)	19.0	5.0	0.0	0.0	78.0

【全体結果】「フードドライブ」が12%で最も高く、「Saitama Sunday Soup（日曜日は食べつくす！）」（5%）、「チームEat All」（3%）が続いた。一方、「どれも知らなかった」は、84%であった。

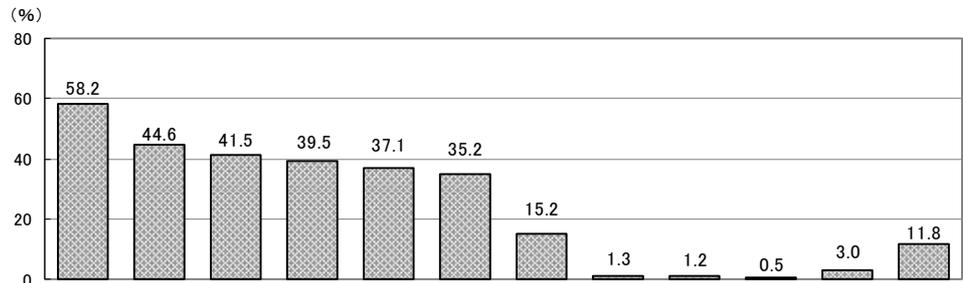
Q16. 知っていた食品ロスの取組（複数回答）（経年比較）



【比較結果】過去の同様の調査結果と比較すると、前回とほぼ同じであった。

Q17. ふだん食品ロス削減のためにやっている工夫（複数回答）

あなたは、ふだん食品ロス削減のため、どのような工夫をしていますか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		食べきれない量だけ買うようにしている	食材が傷む前に食べきるようにしている	冷蔵庫などを整理し、家にある食品を把握している	外食時に食べきれない量だけ注文している	余った食材も調理して使いきるようにしている	食べきれない量だけ作るようにしている	期限の近いものを買うようにしている	お店の食品ロスを減らすために、賞味期を短縮している	フードシェアリングサービスで買い物をする	その他	覚えていない／わからない	取り組んでいない
全体(n=1000)		58.2	44.6	41.5	39.5	37.1	35.2	15.2	1.3	1.2	0.5	3.0	11.8
性別	男性(n=500)	55.2	36.8	32.8	34.6	26.6	28.8	12.2	1.2	1.2	0.4	3.4	15.0
	女性(n=500)	61.2	52.4	50.2	44.4	47.6	41.6	18.2	1.4	1.2	0.6	2.6	8.6
年代別	18-29歳(n=200)	54.0	29.5	30.0	31.5	26.5	32.0	18.0	2.0	2.0	0.0	3.5	21.5
	30代 (n=200)	51.0	41.0	40.0	42.5	34.0	37.5	11.5	1.0	0.5	1.0	3.0	17.0
	40代 (n=200)	60.5	48.5	39.0	41.0	36.5	31.0	18.0	1.5	0.5	0.5	4.0	8.0
	50代 (n=200)	59.0	50.0	46.5	39.0	43.5	35.0	16.0	2.0	2.0	0.5	3.5	7.5
	60代 (n=200)	66.5	54.0	52.0	43.5	45.0	40.5	12.5	0.0	1.0	0.5	1.0	5.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	53.0	24.0	23.0	26.0	21.0	27.0	18.0	1.0	1.0	0.0	3.0	24.0
	男性30代 (n=100)	55.0	35.0	35.0	36.0	23.0	32.0	7.0	1.0	1.0	1.0	2.0	22.0
	男性40代 (n=100)	56.0	42.0	27.0	35.0	32.0	25.0	14.0	2.0	0.0	1.0	6.0	12.0
	男性50代 (n=100)	52.0	38.0	37.0	36.0	27.0	30.0	12.0	2.0	2.0	0.0	5.0	9.0
	男性60代 (n=100)	60.0	45.0	42.0	40.0	30.0	30.0	10.0	0.0	2.0	0.0	1.0	8.0
	女性18-29歳(n=100)	55.0	35.0	37.0	37.0	32.0	37.0	18.0	3.0	3.0	0.0	4.0	19.0
	女性30代 (n=100)	47.0	47.0	45.0	49.0	45.0	43.0	16.0	1.0	0.0	1.0	4.0	12.0
	女性40代 (n=100)	65.0	55.0	51.0	47.0	41.0	37.0	22.0	1.0	1.0	0.0	2.0	4.0
	女性50代 (n=100)	66.0	62.0	56.0	42.0	60.0	40.0	20.0	2.0	2.0	1.0	2.0	6.0
女性60代 (n=100)	73.0	63.0	62.0	47.0	60.0	51.0	15.0	0.0	0.0	1.0	1.0	2.0	

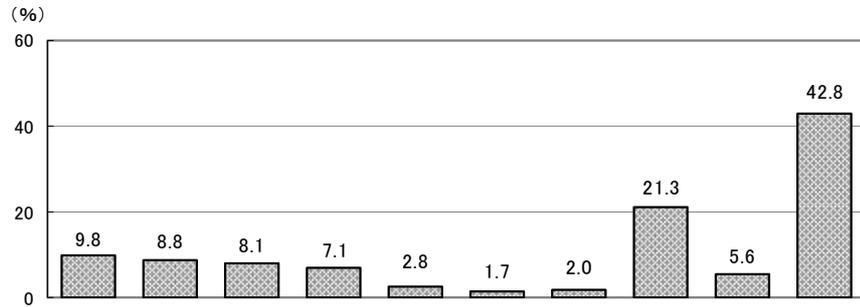
【全体結果】「食べきれない量だけ買うようにしている」が58%で最も高く、「食材が傷む前に食べきるようにしている」(45%)、「冷蔵庫などを整理し、家にある食品を把握している」(42%)が続いた。

◎性別で見ると、多くの項目で、女性が男性よりも高かった。

◎年代別で見ると、「食材が傷む前に食べきるようにしている」、「冷蔵庫などを整理し、家にある食品を把握している」、「余った食材も調理して使いきるようにしている」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があった。

Q18. 食品ロス削減の工夫をするうえで妨げとなるもの（複数回答）

あなたが、食品ロス削減の工夫をするうえで、妨げとなるものは何ですか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



	お金がかかりそう	時間がない	気が進まない・面倒	やり方がわからない	メリットがわからない	食品ロスが何なのかよくわからない	その他	そもそも食品ロスが出ない	覚えていない／わからない	妨げとなるものはない	
全体(n=1000)	9.8	8.8	8.1	7.1	2.8	1.7	2.0	21.3	5.6	42.8	
性別	男性(n=500)	12.6	8.0	8.0	7.6	3.0	1.8	1.6	20.4	5.6	42.6
	女性(n=500)	7.0	9.6	8.2	6.6	2.6	1.6	2.4	22.2	5.6	43.0
年代別	18-29歳(n=200)	13.5	11.0	16.5	11.0	3.0	3.5	0.0	18.0	7.0	35.0
	30代 (n=200)	10.5	10.5	10.0	6.0	3.0	1.0	2.0	19.0	6.0	39.5
	40代 (n=200)	8.5	10.5	7.0	8.5	3.0	1.5	4.0	18.5	6.5	44.5
	50代 (n=200)	10.0	6.5	3.5	4.5	4.5	2.0	1.0	23.0	5.0	46.0
	60代 (n=200)	6.5	5.5	3.5	5.5	0.5	0.5	3.0	28.0	3.5	49.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	15.0	14.0	17.0	12.0	4.0	2.0	0.0	16.0	8.0	34.0
	男性30代 (n=100)	15.0	5.0	11.0	6.0	2.0	2.0	1.0	21.0	6.0	39.0
	男性40代 (n=100)	10.0	7.0	6.0	7.0	1.0	1.0	3.0	19.0	7.0	48.0
	男性50代 (n=100)	13.0	5.0	2.0	4.0	8.0	3.0	1.0	15.0	5.0	51.0
	男性60代 (n=100)	10.0	9.0	4.0	9.0	0.0	1.0	3.0	31.0	2.0	41.0
	女性18-29歳(n=100)	12.0	8.0	16.0	10.0	2.0	5.0	0.0	20.0	6.0	36.0
	女性30代 (n=100)	6.0	16.0	9.0	6.0	4.0	0.0	3.0	17.0	6.0	40.0
	女性40代 (n=100)	7.0	14.0	8.0	10.0	5.0	2.0	5.0	18.0	6.0	41.0
	女性50代 (n=100)	7.0	8.0	5.0	5.0	1.0	1.0	1.0	31.0	5.0	41.0
	女性60代 (n=100)	3.0	2.0	3.0	2.0	1.0	0.0	3.0	25.0	5.0	57.0

【全体結果】「お金がかかりそう」が10%で最も高く、「時間がない」(9%)、「気が進まない・面倒」(8%)が続いた。

一方、「妨げとなるものはない」は、43%であった。

◎性別で見ると、「お金がかかりそう」は、男性(13%)が女性(7%)よりも6ポイント高かった。

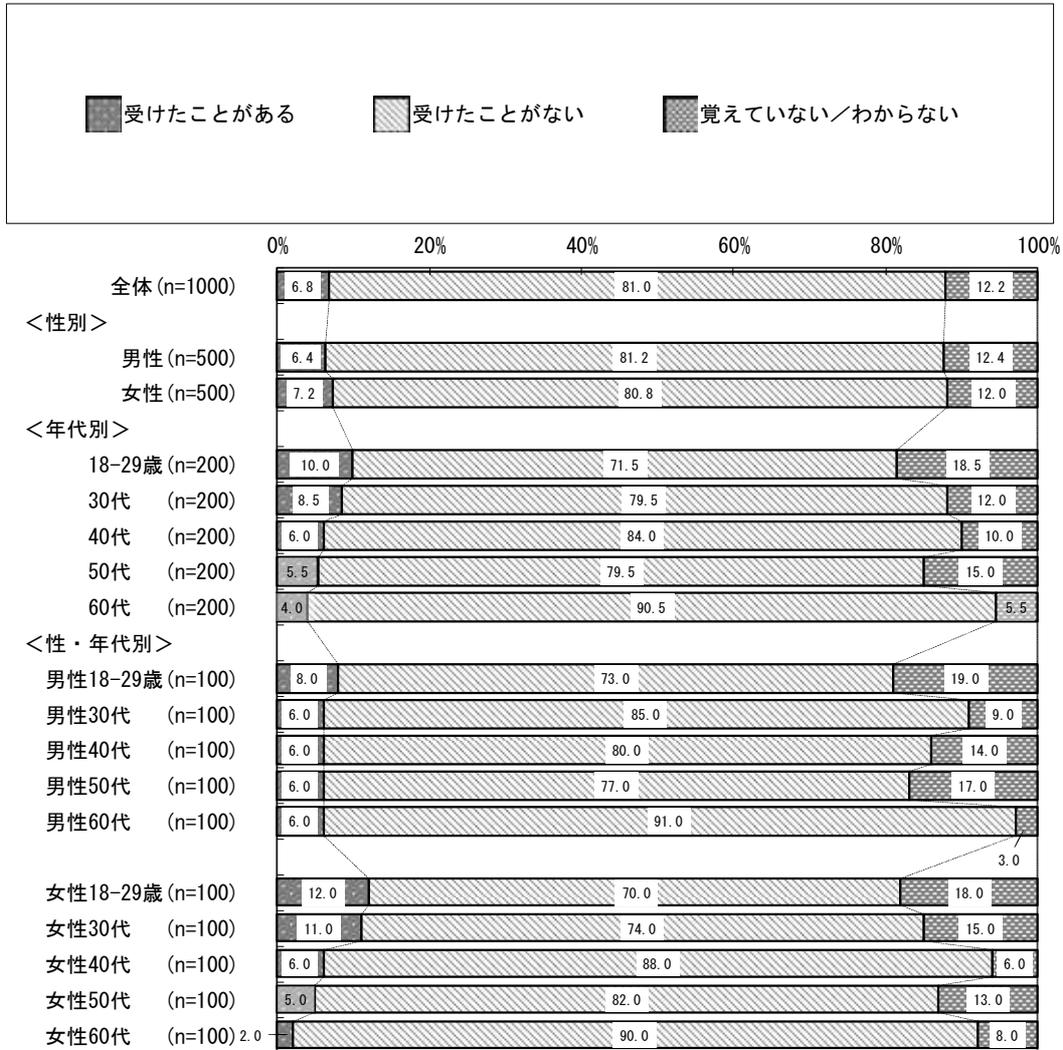
◎年代別で見ると、「そもそも食品ロスが出ない」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で28%となった。

【インターネット上における誹謗中傷等に関する質問】

Q19. インターネット上で誹謗中傷等を受けたことがあるか

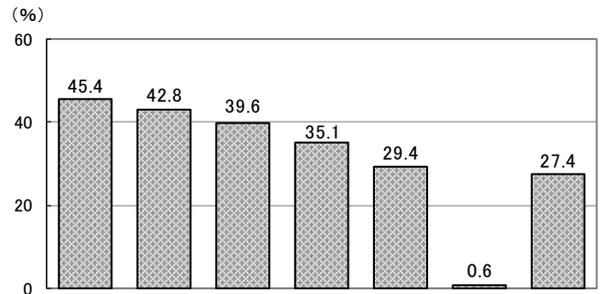
あなたは、インターネット上において誹謗中傷等を受けたことがありますか。

以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「受けたことがある」は7%であった。

Q20. インターネット上の誹謗中傷等への対策として、今後力を入れるとよいと思う取組（複数回答）
 インターネット上における誹謗中傷等への対策として、市は今後どのような取組に力を入れるとよいと思いますか。
 以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		警察等の他機関との連携促進	法律相談や心理相談等の相談窓口の開設	被害を受けた際に利用できる支援機関等に関する周知	インターネット上における誹謗中傷等対策に関する条例の制定	インターネットの特性を正しく活用する能力（インターネットリテラシー）の教育・啓発	その他	特にない／わからない
全体(n=1000)		45.4	42.8	39.6	35.1	29.4	0.6	27.4
性別	男性(n=500)	44.6	40.2	35.0	31.2	27.8	0.4	28.8
	女性(n=500)	46.2	45.4	44.2	39.0	31.0	0.8	26.0
年代別	18-29歳(n=200)	33.5	29.0	25.0	18.0	20.5	0.5	41.5
	30代 (n=200)	42.0	39.5	39.0	30.5	27.5	1.0	32.0
	40代 (n=200)	49.5	46.0	38.5	37.5	31.0	0.0	26.0
	50代 (n=200)	51.5	52.5	48.5	42.5	31.0	0.5	25.5
	60代 (n=200)	50.5	47.0	47.0	47.0	37.0	1.0	12.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	35.0	25.0	22.0	19.0	20.0	0.0	44.0
	男性30代 (n=100)	38.0	31.0	33.0	22.0	25.0	1.0	38.0
	男性40代 (n=100)	44.0	46.0	31.0	29.0	33.0	0.0	29.0
	男性50代 (n=100)	55.0	52.0	46.0	44.0	27.0	0.0	22.0
	男性60代 (n=100)	51.0	47.0	43.0	42.0	34.0	1.0	11.0
	女性18-29歳(n=100)	32.0	33.0	28.0	17.0	21.0	1.0	39.0
	女性30代 (n=100)	46.0	48.0	45.0	39.0	30.0	1.0	26.0
	女性40代 (n=100)	55.0	46.0	46.0	46.0	29.0	0.0	23.0
	女性50代 (n=100)	48.0	53.0	51.0	41.0	35.0	1.0	29.0
女性60代 (n=100)	50.0	47.0	51.0	52.0	40.0	1.0	13.0	

【全体結果】「警察等の他機関との連携促進」が45%で最も高く、「法律相談や心理相談等の相談窓口の開設」(43%)、「被害を受けた際に利用できる支援機関等に関する周知」(40%)が続いた。

◎性別で見ると、「法律相談や心理相談等の相談窓口の開設」、「被害を受けた際に利用できる支援機関等に関する周知」、「インターネット上における誹謗中傷等対策に関する条例の制定」は、女性が男性よりも5ポイント以上高かった。

◎年代別で見ると、「インターネット上における誹謗中傷等対策に関する条例の制定」は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で47%となった。

3 調査票（アンケート画面）

SC1
必須

あなたのお住まいをお答えください。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 1. さいたま市西区 | <input type="radio"/> 6. さいたま市桜区 |
| <input type="radio"/> 2. さいたま市北区 | <input type="radio"/> 7. さいたま市浦和区 |
| <input type="radio"/> 3. さいたま市大宮区 | <input type="radio"/> 8. さいたま市南区 |
| <input type="radio"/> 4. さいたま市見沼区 | <input type="radio"/> 9. さいたま市緑区 |
| <input type="radio"/> 5. さいたま市中央区 | <input type="radio"/> 10. さいたま市岩槻区 |
| | <input type="radio"/> 11. その他（具体的に） <input type="text"/> |

SC2
必須

あなたの性別と年齢をお答えください。

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 男性 18歳未満 | <input type="radio"/> 9. 女性 18歳未満 |
| <input type="radio"/> 2. 男性 18～29歳 | <input type="radio"/> 10. 女性 18～29歳 |
| <input type="radio"/> 3. 男性 30～39歳 | <input type="radio"/> 11. 女性 30～39歳 |
| <input type="radio"/> 4. 男性 40～49歳 | <input type="radio"/> 12. 女性 40～49歳 |
| <input type="radio"/> 5. 男性 50～59歳 | <input type="radio"/> 13. 女性 50～59歳 |
| <input type="radio"/> 6. 男性 60～69歳 | <input type="radio"/> 14. 女性 60～69歳 |
| <input type="radio"/> 7. 男性 70～79歳 | <input type="radio"/> 15. 女性 70～79歳 |
| <input type="radio"/> 8. 男性 80歳以上 | <input type="radio"/> 16. 女性 80歳以上 |

「動画による広報」について、質問します。

Q1 あなたは、知りたい情報を得るために動画配信サイトやSNSなどで動画を見ることがあります
必須 か。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 1. 日常的に見ている
- 2. たまに見ることがある
- 3. ほとんど見ることがない
- 4. まったく見ない

Q2 あなたは、知りたい情報を得るために動画を見るとき、何を利用しますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. YouTube
- 2. TikTok
- 3. X (旧Twitter)
- 4. Instagram
- 5. Facebook
- 6. LINE
- 7. Threads
- 8. その他 (具体的に)
- 9. 覚えていない/わからない

Q3 あなたは、YouTubeのさいたま市公式チャンネルの動画を見たことがありますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 複数回見たことがある
- 1度だけ見たことがある
- 見たことはないが、さいたま市公式チャンネルがあることは知っていた
- 見たことはないし、さいたま市公式チャンネルがあることも知らなかった
- 覚えていない/わからない

Q4 あなたは、動画でさいたま市のどんな情報を知りたいですか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. イベント情報
- 2. 地域密着の情報
- 3. 行政サービス
- 4. 市の施策・計画などの解説
- 5. 公共施設の情報
- 6. 市の歴史や文化
- 7. 市民活動の紹介
- 8. 災害情報
- 9. その他（具体的に）
- 10. 特に知りたいものはない

Q5 あなたは、知りたい情報を得るために市が配信する動画を見ると、どれぐらいの長さだったら見たいと思いますか。
必須 以下の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

- 1. 詳細な内容を説明した、5分を超える動画
- 2. 内容を簡潔にまとめた、1～5分程度の動画
- 3. 内容の一部やその情報の調べ方などを告知する、1分未満の動画
- 4. わからない

「さいたま市出前講座」について、質問します。

さいたま市では、市民の皆さんが開催する集会や会合などに、市の職員が直接出向いて、市の施策や事業について説明する、「さいたま市出前講座」を実施しています。
防災や健康、市の魅力など、148のテーマから選ぶことができ、自治会やサークル、職場の集まりなどの20人以上の集会、会合で利用することができます。

※以下のサイトをご覧ください。質問にお答えください。

■ [さいたま市ホームページ「さいたま市出前講座」](#)

Q6 あなたは、さいたま市出前講座に参加したことがありますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 複数回参加したことがある
- 1度だけ参加したことがある
- 参加したことはないが、さいたま市出前講座のことは知っていた
- 参加したことはないし、さいたま市出前講座があることも知らなかった
- 覚えていない／わからない

Q7 あなたは、さいたま市出前講座のことを、何で知りましたか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. さいたま市出前講座テーマ集
- 2. 「市報さいたま」
- 3. その他の市の情報誌（紙）・冊子
- 4. 市のホームページ
- 5. 市のX（旧Twitter）・Facebook・LINE
- 6. 市公式YouTubeチャンネル
- 7. その他のインターネット
- 8. 区役所の電光掲示板
- 9. 所属する団体等で行った出前講座に参加
- 10. 市の職員からの案内
- 11. 家族や友人・知人の話
- 12. その他（具体的に）
- 13. 覚えていない／わからない

Q8 あなたは、これからさいたま市出前講座に参加したいと思いますか。
必須 これまでに参加したことがある人は、もう一度参加したいと思うかをお答えください。

- 1. ぜひ参加したい
- 2. 機会があれば参加したい
- 3. 参加したいとは思わない
- 4. わからない

Q9 あなたは、さいたま市出前講座のテーマの中で、興味があるものはありますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. 市の魅力に関するテーマ
- 2. 市の施設に関するテーマ
- 3. 防災に関するテーマ
- 4. 地域活動や仕事、人権、ペットなどのくらしに関するテーマ
- 5. 税金・手続きに関するテーマ
- 6. 福祉・健康に関するテーマ
- 7. 子育てに関するテーマ
- 8. 環境・水に関するテーマ
- 9. まちづくりに関するテーマ
- 10. 市政のしくみなどの市役所・区役所に関するテーマ
- 11. 特定の分野ではなく、市について広く学ぶことができるテーマ
- 12. その他（具体的に）
- 13. 特にない／わからない

「区役所における窓口サービス」について、質問します。

Q10 あなたは、最近1年間に、さいたま市の区役所や支所・市民の窓口は何回行きましたか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 1回
- 2～3回
- 4回以上
- 0回（電子申請・郵送請求等を利用）
- 利用していない

Q11 あなたは、最近1年間に、さいたま市の区役所や支所・市民の窓口をどのような用件で利用しましたか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. 各種証明書の取得（住民票の写し、戸籍謄本、印鑑登録証明書、税証明書など）
- 2. 引越しに伴う届出（転入届、転居届など）
- 3. 印鑑登録またはマイナンバーカードに関する手続き
- 4. 戸籍の届出（出生届、婚姻届、死亡届など）
- 5. 税の申告、納付、相談など
- 6. 情報公開コーナーの利用
- 7. 上下水道の開始や中止の手続き、料金の支払いなど
- 8. 生活保護の申請・相談
- 9. 児童福祉に関する手続き（保育園、児童手当など）
- 10. 障害者福祉に関する手続き（障害者手帳、各種手当など）
- 11. 高齢者福祉に関する手続き（介護保険、高齢者福祉サービスなど）
- 12. 国民健康保険に関する手続き（加入・脱退、高額療養費など）
- 13. 後期高齢者医療・福祉医療に関する手続き（子育て支援医療、ひとり親家庭等医療、心身障害者医療など）
- 14. 国民年金に関する手続き
- 15. 母子保健に関すること（乳幼児の健診、育児の相談など）
- 16. その他（具体的に）
- 17. 覚えていない

Q12
必須

あなたは、いつ区役所が開いていると便利だと思いますか。
以下の表の中から、平日（月～金）と土日のそれぞれ、あてはまるものを**すべて**選んでください。
※平日の8:30～17:15だけ開いていればよいという方は、「希望する時間帯はない」にチェックしてください。



	1.	2.
	平日 (月～金)	土日
	↓	↓
1. 7:30～8:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 8:00～8:30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 8:30～17:15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 17:15～18:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 18:00～19:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 19:00～20:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 20:00～21:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 21:00～翌7:30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 希望する時間帯はない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

現在、さいたま市では、休日でも区役所での各種手続きができるように、「休日窓口」を開設しています。開設場所、開設日、開設時間は以下のとおりです。

開設場所・・・全10区役所

開設日・・・毎月最終日曜日と3月の最終土曜日（全13回/年）

開設時間・・・各回とも8:30~17:15

主な取扱業務・・・住民異動届、戸籍の届出（出生届、婚姻届など）、
印鑑登録、マイナンバーカードに関する手続き、
住民票の写し、戸籍謄本、印鑑登録証明書、税証明書などの交付、
児童手当の届出、国民健康保険や国民年金の加入・脱退手続きなど

参考：令和4年度実績（1日あたり、全10区役所合計）

件数・・・約4,556件

費用・・・約445万円（光熱水費、施設管理の費用、窓口業務委託料などの合計）

Q13 あなたは、「休日窓口」を利用したことがありますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 1. 「休日窓口」を利用したことがある
- 2. 「休日窓口」を開設していることは知っていたが、利用したことはない
- 3. 「休日窓口」を知らなかった

「福祉まるごと相談窓口」について、質問します。

福祉まるごと相談窓口は、生活にお困りの方や福祉のさまざまな課題を抱えた方等の相談を包括的に受け止め、相談内容に応じた必要な支援のコーディネートを行う福祉の総合相談窓口です。さまざまな生活上の困りごとや不安を抱えている方の相談をお伺いし、どのような支援が必要か一緒に考え、問題の解決に向けて具体的な支援プランを作成します。また、相談内容に応じて、適切な関係機関におつなぎするなど、他の関係機関とも連携して包括的な支援を行います。

※以下のサイトをご覧ください。質問にお答えください。

■ [さいたま市ホームページ「福祉まるごと相談窓口のご案内」](#)

Q14 あなたは、「福祉まるごと相談窓口」について、知っていましたか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 1. 内容まで知っていた
- 2. 聞いたことはあったが、内容は知らなかった
- 3. 知らなかった

Q15 あなたは、「福祉まるごと相談窓口」のことを、何で知りましたか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. 「市報さいたま」
- 2. 「福祉まるごと相談窓口」のチラシ
- 3. 市の自治会回覧
- 4. その他の市の情報誌（紙）・冊子
- 5. 新聞・雑誌
- 6. 市のホームページ
- 7. 市のX（旧Twitter）・Facebook・LINE
- 8. その他のインターネット
- 9. 区役所の電光掲示板
- 10. テレビ
- 11. ラジオ
- 12. 市の職員からの案内
- 13. 地域の支援機関・団体からの案内
- 14. 家族や友人・知人の話
- 15. その他（具体的に）
- 16. 覚えていない／わからない

「食品ロス」について、質問します。

Q16 **必須** さいたま市では、食品ロス（まだ食べられるのに捨てられてしまう食品）削減のため、以下のよ
うな取組を行っています。
以下の中から、知っていた取組を**すべて**選んでください。

1. Saitama Sunday Soup（日曜日は食べつくスープ!）（※1）
2. チームEat All（※2）
3. フードドライブ（※3）
4. その他（具体的に）
5. どれも知らなかった

※1）Saitama Sunday Soup（日曜日は食べつくスープ!）・・・おいしく楽しく食品ロスを減らすライフスタイルとして、野菜などの生鮮食材を、日曜日の夜にスープにして食べつくそうという解決策を提案しています。
※2）チームEat All・・・事業系食品ロス削減に取り組む事業者などを登録し、協働することで食品ロスの削減を推進していく枠組です。
※3）フードドライブ・・・家庭で余っている食品を回収し、福祉施設等に寄付する活動です。

Q17 あなたは、ふだん食品ロス削減のため、どのような工夫をしていますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. 食べきれぬ量だけ買うようにしている
- 2. 冷蔵庫などを整理し、家にある食品を把握している
- 3. 食べきれぬ量だけ作るようにしている
- 4. フードドライブを利用している
- 5. 外食時に食べきれぬ量だけ注文している
- 6. 余った食材も調理して使いきるようにしている
- 7. 食材が傷む前に食べきるようにしている
- 8. お店の食品ロスを減らすために、賞味期限の近いものを買うようにしている
- 9. フードシェアリングサービス（※）で買い物をしている
- 10. その他（具体的に）
- 11. 覚えていない／わからない
- 12. 取り組んでいない

※ フードシェアリング・・・まだ食べられるのに廃棄される予定となった食品を、必要としている人に紹介・案内し、割引価格で提供することにより、食品を無駄にしないようにする取組

Q18 あなたが、食品ロス削減の工夫をするうえで、妨げとなるものは何ですか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. メリットがわからない
- 2. 食品ロスが何なのかよくわからない
- 3. やり方がわからない
- 4. お金がかかりそう
- 5. 気が進まない・面倒
- 6. 時間がない
- 7. そもそも食品ロスが出ない
- 8. その他（具体的に）
- 9. 覚えていない／わからない
- 10. 妨げとなるものはない

「インターネット上における誹謗中傷等」について、質問します。

Q19 あなたは、インターネット上において誹謗中傷等を受けたことがありますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 1. 受けたことがある
- 2. 受けたことがない
- 3. 覚えていない／わからない

Q20 インターネット上における誹謗中傷等への対策として、市は今後どのような取組に力を入れるとよいと思いますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. 法律相談や心理相談等の相談窓口の開設
- 2. 警察等の他機関との連携促進
- 3. 被害を受けた際に利用できる支援機関等に関する周知
- 4. インターネットの特性を正しく活用する能力（インターネットリテラシー）の教育・啓発
- 5. インターネット上における誹謗中傷等対策に関する条例の制定
- 6. その他（具体的に）
- 7. 特にない／わからない

このさいたま市インターネット市民意識調査業務の委託に要する経費は196万円です。